

日立 ふる全自動
給湯型 自然冷媒(CO₂)ヒートポンプ給湯機



フルオート【追焚上手】 取扱説明書

季節別時間帯別電灯型 / 時間帯別電灯型

高圧力型

BHP-F37BU
BHP-F46BU
BHP-F37BUK

- このたびは日立自然冷媒(CO₂)ヒートポンプ給湯機をお買い上げいただきありがとうございます。本品の機能を十分発揮させて効果的にご利用いただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分理解してください。
- お読みになった後は、いつでも取出せるよう大切に保管してください。

BL 認定品です



本製品は、BL 認定品です。

BL 認定品は財団法人「ベターリビング」より優れた住宅設備として認定を受けたものです。

もくじ

ご使用のまえに...

安全上のご注意	1
ご使用上の注意	5

各部の名称とはたらき

台所リモコン	6
ふるリモコン	7
本体(その1)	8
本体(その2)	9

使用方法

使用準備	10
現在時刻の合わせかた	12
沸き上げ運転モードを設定する	13
自動沸き増しの設定	15
沸き増しのしかた	16
給湯温度の設定のしかた	17
ふる湯はり(ふる自動運転)のしかた	18
ふる湯はり温度の設定	19
ふる湯はり水位の設定	19
ふる自動運転時間の設定	20
入浴中にお湯をたす	21
入浴中に湯温を下げる	21
入浴中に湯温を上げる	22
ふる湯はり予約のしかた	23
インターホンを使う	24
インターホン音量調節/音声ガイド	24
聞取り	25
聞取禁止	25
チャイルドロックのしかた	26



こんなとき

ふる循環配管の洗浄のしかた	27
数日間お湯を使わないとき	28
1ヶ月以上使用しないとき	29
凍結防止について	30
各部の点検	31
日常の点検とお手入れ	32
音声ガイド一覧表	33
点検表示のみかたと処置	34
故障かなと思ったら	35
仕様	37
豆知識	38
保証とアフターサービス	




ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害と損害を未然に防ぐために必要な重要事項です。

記載内容をよく理解し必ずお守りいただいて給湯機を正しく安全にご使用ください。


取扱いを誤った場合に生じる危険とその程度の区分

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。

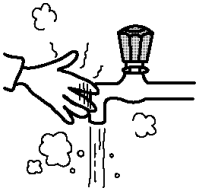
本文中に使われる図記号の意味

	禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	注意を示します。 付帯的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。


警告

 給湯時は湯水混合栓
に手を触れない


やけど注意




- やけどをすることがあります。

 シャワー使用時は、湯温を確かめる


やけど注意




- やけどをすることがあります。
- シャワー給湯には必ずサーモスタット式の湯水混合栓をご使用ください。

 浴そうの湯温を確かめてから入浴する

やけど注意



- やけどをすることがあります。

 追焚き、たっぷり運転中はふる循環アダプターから離れる

やけど注意

P21 **P22**

- 高温水が出てやけどをすることがあります。

警告



給湯温度の変更は、他の蛇口の
使用状況を確認してから行う

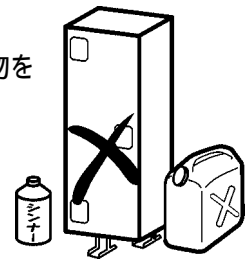
P17

- やけどをすることがあります。
- シャワーを使用するときは、浴室を「優先」にしてください。



禁止

機器の近くに
ガス類や引火物を
置かない

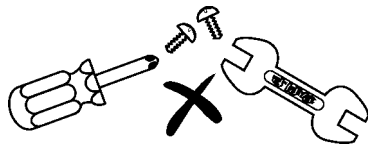


- 発火や火災になることがあります。



分解禁止

分解・修理・改造を行わない



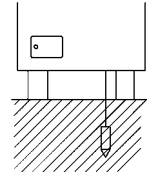
- 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



アース工事

アース工事を確認する

P8

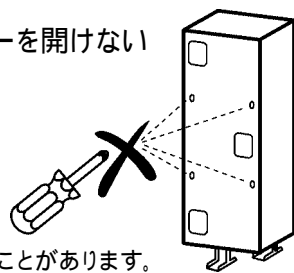


- 故障や漏電のときに感電することがあります。



分解禁止

前面カバーを開けない



- 開けると、感電することがあります。



異常(こげ臭いなど)時は、漏電遮断器の電源スイッチを「切」にし、販売店に連絡する

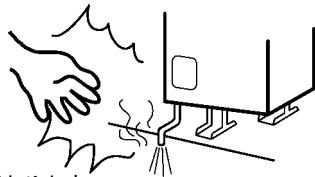
P9



やけど注意

タンクの排水時は、お湯に手を
触れない

P31



- 熱湯が出てやけどをすることがあります。



やけど注意

逃し弁点検時は内部の配管に
手を触れない

P31

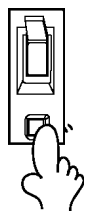
- やけどをすることがあります。



動作確認

漏電遮断器の動作を確認する

P31



- 故障のまま使用すると、感電することがあります。



禁止

ヒートポンプユニットは屋内に
設置しない

- 万一冷媒が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故(脳機能障害等)に至ることがあります。

警告



やけど注意

ヒートポンプ配管に手を触れない

- やけどをすることがあります。



禁止

ヒートポンプユニットのフィンに触ったり、空気吸込口・吹出口に手や棒を入れない

- けがをすることがあります。



禁止

浴そうに髪をつけない
入浴中もぐらない

- ふろ循環アダプターに髪の毛を吸い込まれる恐れがあります。

注意



禁止

冬期、運転休止する場合は、漏電遮断器の電源レバーを「切」にしない

- 配管が凍結し、水漏れすることがあります。



禁止

機器に乗ったり、配管に力を加えたりしない

- 事故・やけどの原因になります。



積雪地ではヒートポンプユニットに屋根をつける

- ヒートポンプユニットに積雪すると、誤作動や故障の原因になります。



禁止

ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げになるものを置かない

- 通風が妨げられると性能低下や故障の原因になります。



積雪時には除雪をする

- ヒートポンプユニットや貯湯タンクユニットの周囲に積雪すると、誤作動や故障の原因になります。

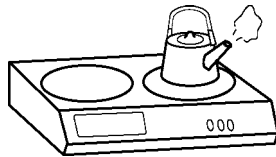
⚠ 注意



禁止

そのまま飲用しない

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず沸騰させてください。



- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 熱いお湯がでてくるまでの水(配管にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、販売店へ点検を依頼してください。



禁止

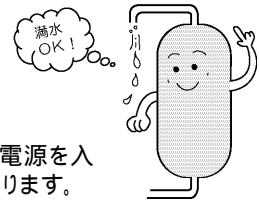
循環アダプターをふさがない

- 貯湯タンクユニットの故障や水漏れすることがあります。



満水確認

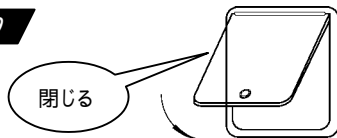
機器を満水にしてから電源を入れる **P10**



- 機器に水がない状態で電源を入れると、故障の原因になります。



操作カバーは閉じる **P9**

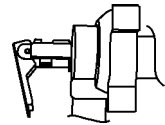


- 開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。



点検

逃し弁の点検をする **P31**



- 点検しないとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。



電源確認

1ヶ月以上使用しないときは、漏電遮断器の電源スイッチを「切」にし、タンクの排水をする **P29**

- 排水しないと水質が変化することがあります。
- 排水しないとタンクや配管が凍結し故障の原因になることがあります。



確認

機器がアンカーボルトで固定されているか確認する

- 固定されていないと、地震などにより本体が倒れてけがをすることがあります。



確認

凍結防止対策の確認をする **P30**

- 凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。



確認

床面が防水・排水処理されているか確認する

- 処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながる可能性があります。

ご使用上の注意

時間帯別電灯契約専用です

この機器の性能を最大限に発揮させ、経済的に運転するために、電力会社と時間帯別電灯契約をしてください。

契約方法は電力会社または、販売店までご相談ください。

深夜時間帯のご使用について

給湯機は、深夜時間帯(リモコンに「沸き上げ中」が表示されているとき)にお湯をわかしますので、この時間帯にお湯を使うと、昼間に沸き増しを行い電気代が高くなる場合があります。

お湯を上手に使う

1日に使用できるお湯の量は限りがあります。お湯の使いすぎに注意してください。流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。

- シャワーは止めながら(髪を洗っているときは止めましょう)
- 洗いものをすするときも止めながら



リモコンの時刻を確認する

月に1度はリモコンの時刻を確認、修正してください。



時刻がずれていると、タンク内を沸き上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金が割高になります。

入浴剤を使うときのご注意

イオウ、酸、アルカリを含んだ入浴剤は使用しないでください。

入浴剤の注意書きをよく読んでご使用ください。また、温泉のお湯は使用しないでください。

本体や配管が故障し、水漏れすることがあります。

湯はりをするときのお願い

湯はりをするとき、次のことをご確認ください。

- 排水栓が閉まっていることを確認
- 浴そうのふたをする

残り湯があっても湯はりできます。

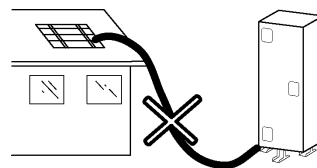
「ふる自動予約」を行うときも同様です。

ふる自動運転中の給湯

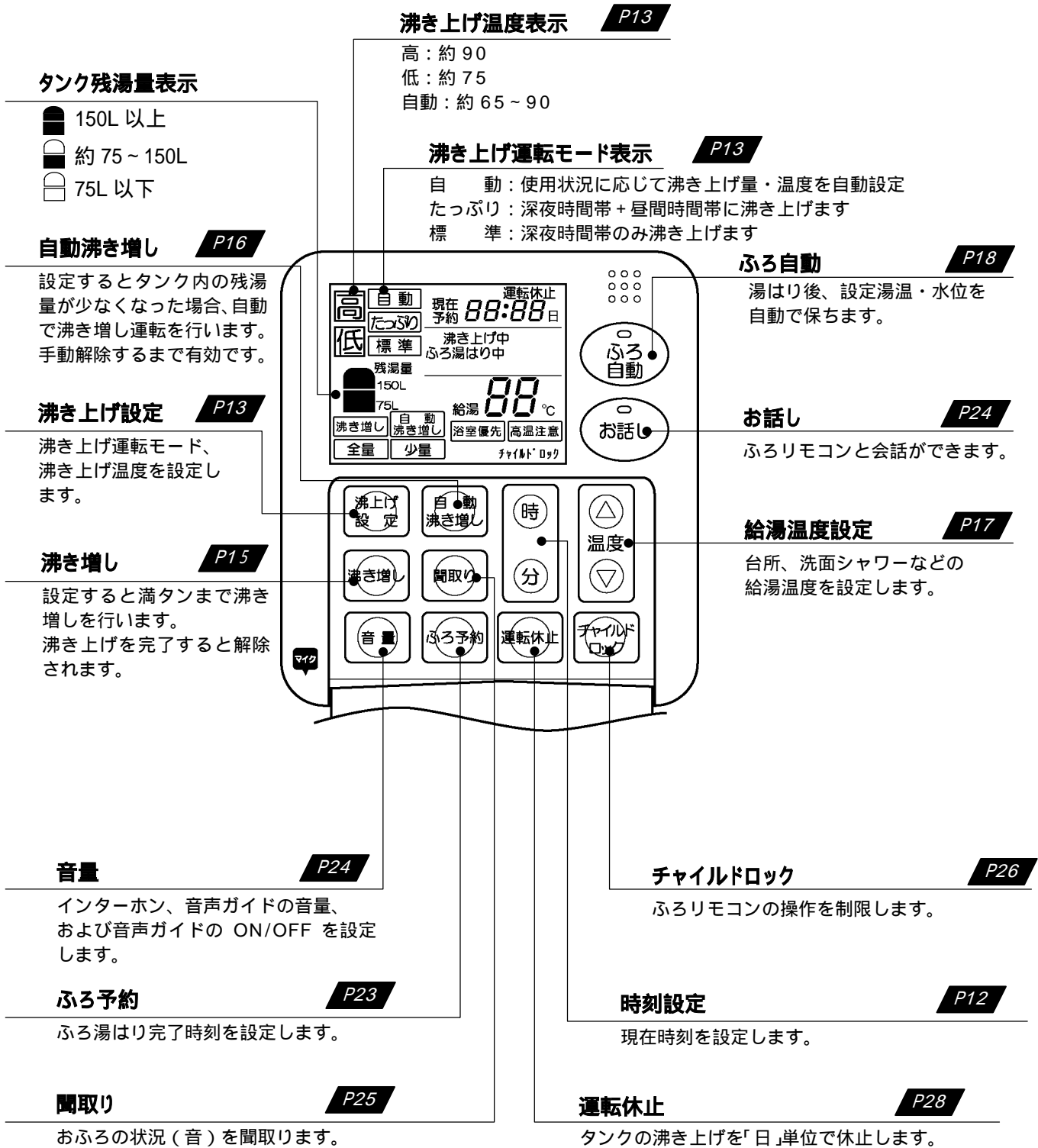
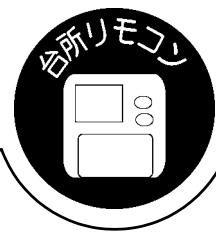
ふる自動運転中にシャワー、蛇口を使用しますと、ふる湯はり、自動足し湯などのふる自動運転動作は一時休止します。シャワー、蛇口を止めるとふる自動運転を再開します。

ソーラのお湯を給水管につながない

ソーラのお湯を機器専用給水管につなぐと故障の原因になります。



各部のなまえ(台所リモコン)



各部のなまえ (ふろリモコン)



ふろ機能使用中

P22 P30

湯はり、追焚き、凍結防止運転中など、浴そうの湯が循環している時、順に点滅表示

給湯温度設定 60、Hi のとき点灯

浴室「優先」の場合点灯

優先

P17

『優先』を押すと浴室でのみ給湯温度の設定ができます。

お話し

P24

台所リモコンと会話ができます。

湯はり中点灯

自動運転中点灯

ふろ自動

P18

湯はり後、設定湯温・水位を自動で保ちます。

追焚き

P22

ふろ湯温を高くします。

お湯とり

オプションです。洗濯機に、残り湯を送水します。全自動洗濯機では使用できません。

たっぶり

P21

たし湯をして湯量を増やします。

洗浄

P27

ふろ配管の洗浄をします。

ふろ湯はり水位設定

P19

ふろ湯はり水位を 3cm 単位で設定します。

ふろ湯はり温度

P19

ふろ湯はり、保温の温度を設定します。

ぬるく

P21

さし水をしてふろ湯温を下げます。

聞取禁止

P25

浴室の音が台所リモコンで聞こえないようにします。

インターホン音量設定

P24

インターホン、音声ガイドの音量、および音声ガイドの ON/OFF を設定します。

給湯温度設定

P17

台所、洗面、シャワーなどの給湯温度を設定します。

自動運転時間設定

P20

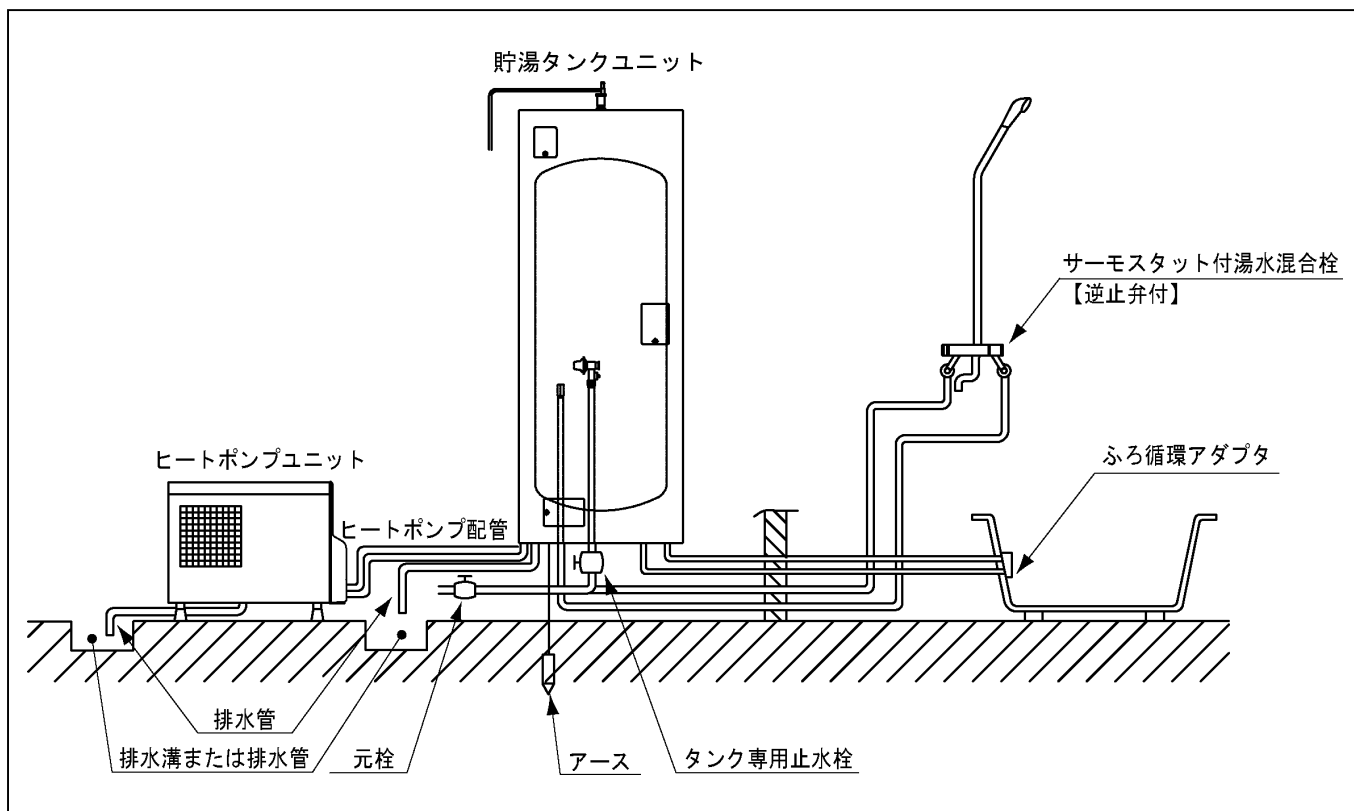
ふろ自動運転で定温、定水位を保持する時間を設定します。

ご注意

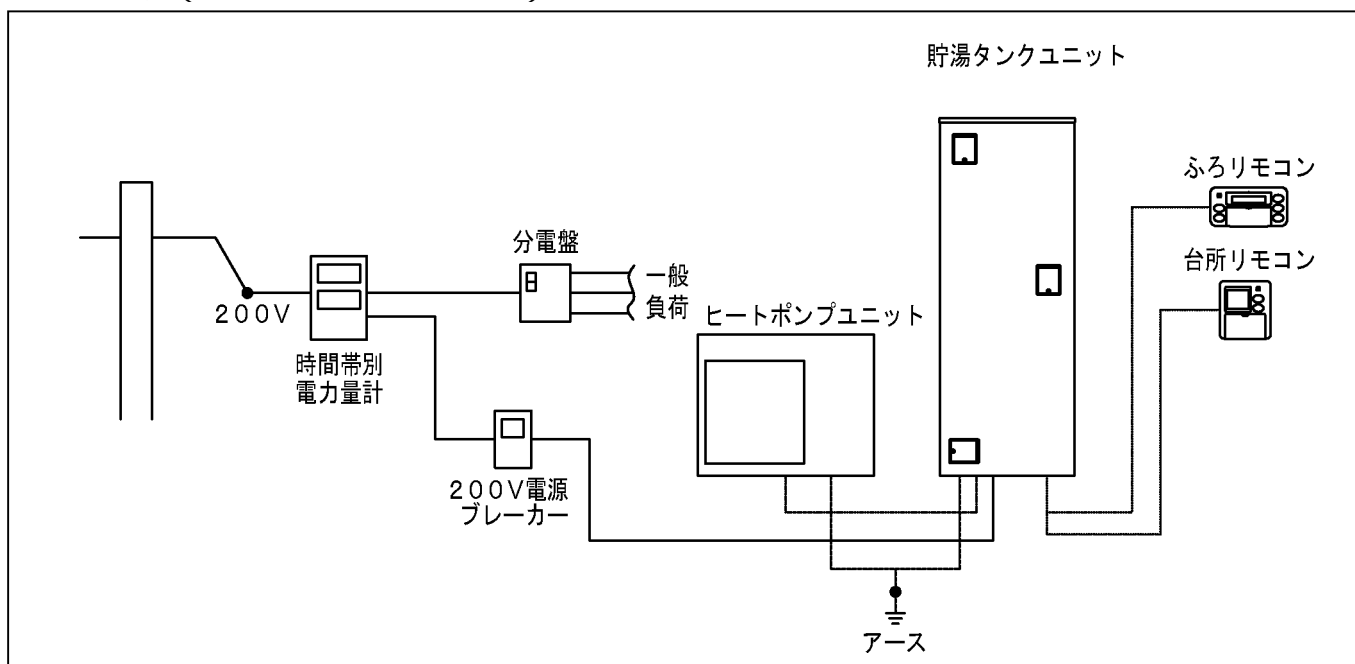
- ・ ふろリモコンは、1 時間以上ボタン操作をしないと自動的に表示が消えます。ただし、給湯温度設定が「60・Hi」の場合は、温度表示と「高温注意」のみ点灯しています。
- ・ 表示が消えてもボタンを押すと再度点灯します。押したボタンの動作は開始します。

各部のなまえ (本体その1)

システム全体の配管概要

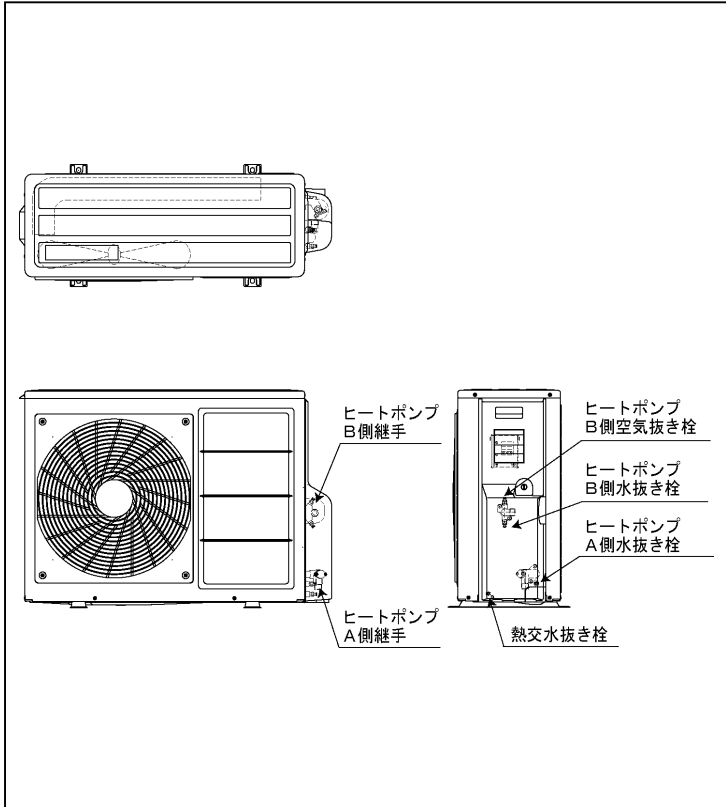


配線例 (時間帯別電灯契約専用)

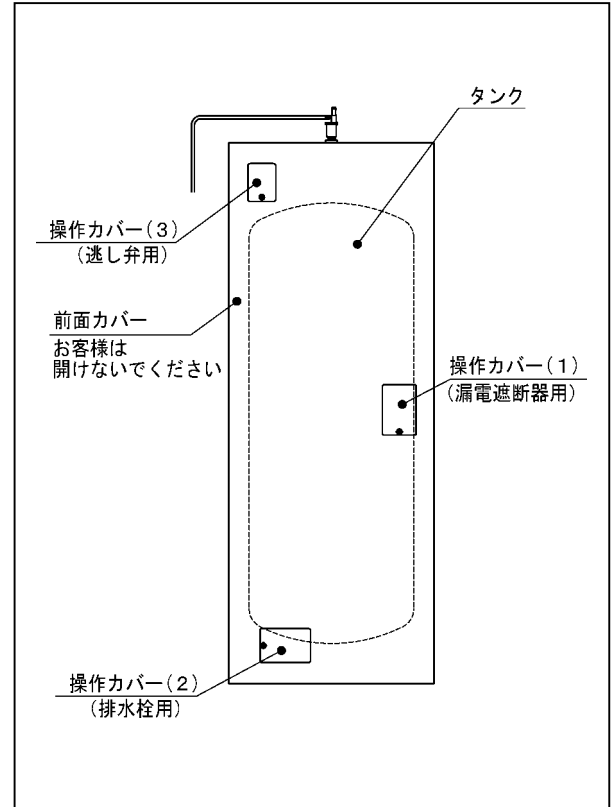


各部のなまえ(本体その2)

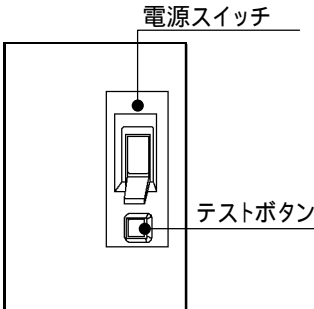
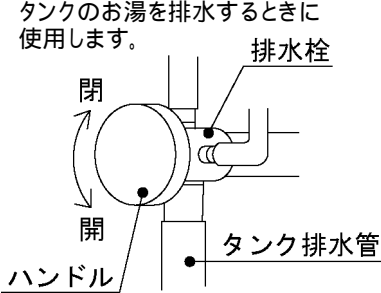
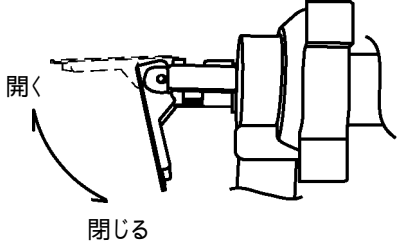
ヒートポンプユニット



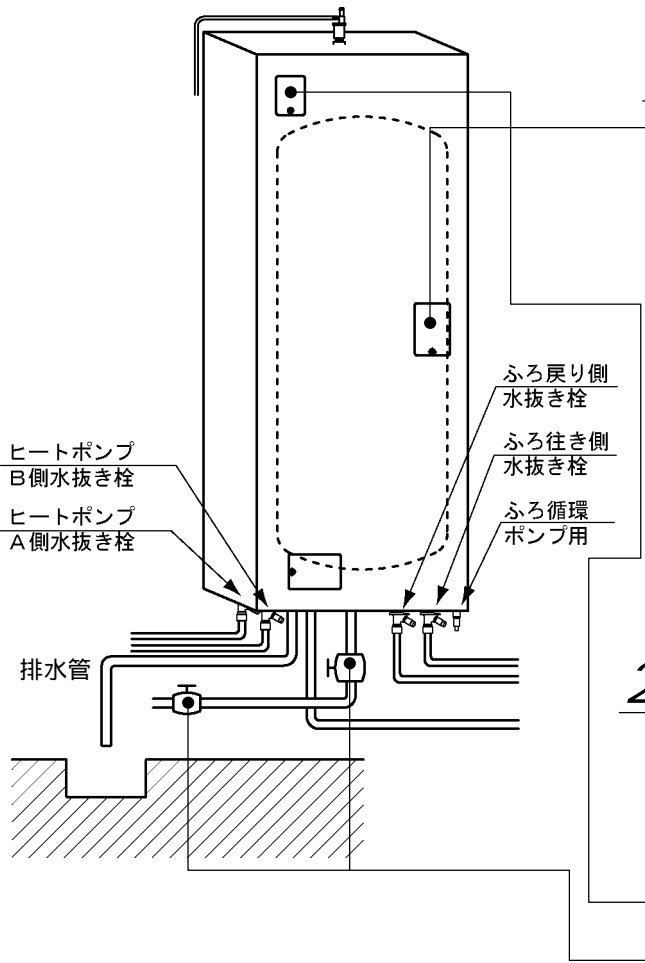
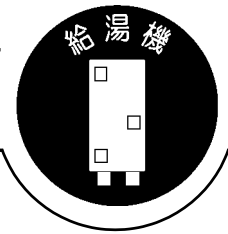
貯湯タンクユニット



貯湯タンクユニット操作カバー内

(1) 漏電遮断器	(2) 排水栓	(3) 逃し弁
 <p>電源スイッチ</p> <p>テストボタン</p> <p>電源スイッチ: 電源を「入」「切」します。</p> <p>テストボタン: 漏電遮断器が正常に動作するか確認します。</p>	 <p>排水栓</p> <p>タンク排水管</p> <p>ハンドル</p> <p>閉</p> <p>開</p> <p>排水栓を閉めていても、タンク沸き上げ中はタンク排水管より少量の膨張水を排出します。正常な動作ですのでハンドルを閉めすぎないようにしてください。</p>	 <p>開く</p> <p>閉じる</p> <p>タンク沸き上げ時は、逃し弁からの膨張水をタンク排水管より排出し、タンク内を一定圧力以下にします。</p>

使用準備



1

給湯機を初期化する

貯湯タンクユニットの電源スイッチを「切」にする。

P9

200V の元電源ブレーカを「入」にする。

P8

貯湯タンクユニット電源スイッチを「入」にする。

台所リモコンまたはふろリモコンで給湯温度を「Lo」に設定する。

P17

「Lo」設定後、5 秒以上経過した後、電源スイッチを「切」にする。

電源 200V の元電源ブレーカを「切」にする。

2

貯湯タンクユニット ヒートポンプユニットを満水にする

すべての湯水混合栓が閉じていることを確認する。

貯湯タンクユニットの排水栓、水抜き栓を閉じる。
ヒートポンプユニットの水抜き栓を閉じる。

逃し弁のレバーを上げる。

P9

水道の元栓と専用止水管を開いてタンクに水を入れる。
ヒートポンプ配管に止水栓を取りつけている場合は、止水栓を開いてください。

タンクが満水になると、排水管から水が出ます。
満水までの所要時間は 30 ~ 50 分です。

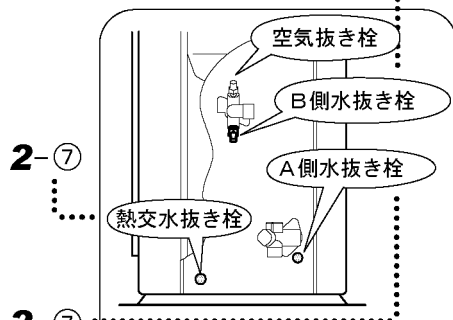
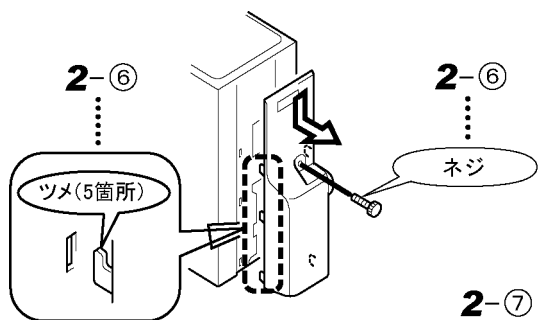
満水になったら逃し弁のレバーを下げる。

ネジを取りはずし下方へスライドさせ、ツメ (5 箇所) をはずし、カバーを取りはずします。

ヒートポンプユニットの水抜き栓を開く。

-) A 側水抜き栓を開き、エア抜きをします。
-) 熱交水抜き栓を開き、エア抜きをします。
-) B 側水抜き栓を開き、エア抜きをします。
-) A 側、熱交、B 側水抜き栓を閉じる。

水道の元栓、専用止水栓は開いておく。

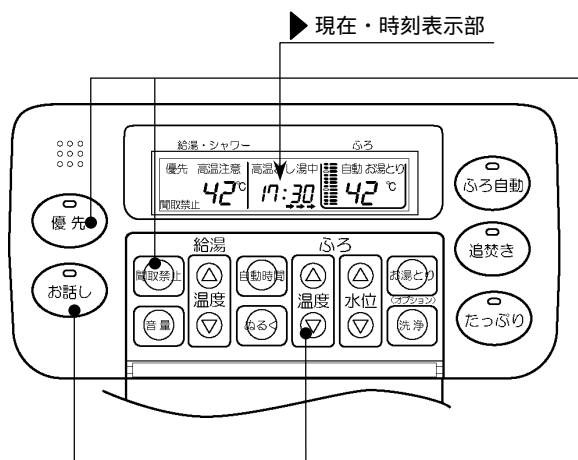
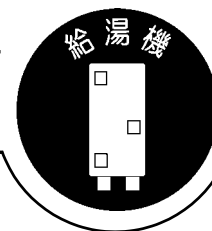


3

電源を入れる

200V の元電源ブレーカを「入」にする。

貯湯タンクユニットの電源スイッチを「入」にする。
自動的に自動沸き増しが設定されます。



4

エア抜きをする

本操作はヒートポンプユニットの位置が貯湯タンクユニットより高い場合や貯湯タンクユニットに注水後ヒートポンプユニットを接続した場合に行います。

「優先」と「聞取禁止」を同時に5秒以上押し、ふろリモコンの時刻表示部を「-- : --」にします。

「お話し」と「ふろ温度 \triangle 」を同時に2秒以上押します。ふろリモコンの表示に「自動」が点灯され、ヒートポンプ配管のエア抜きが始まります。

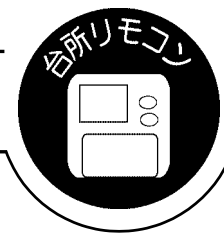
「お話し」と「ふろ温度 \triangle 」を同時に2秒以上押すと、エア抜きが終了します。(この操作をしなくても約20分で自動的に終了します。)

「優先」と「聞取禁止」を同時に5秒以上押し、ふろリモコンの時刻表示部を時刻表示に戻します。

5 時刻とタンクの沸き上げ温度を設定する

時刻の設定 **P12**

沸き上げ運転モードを設定する **P13**



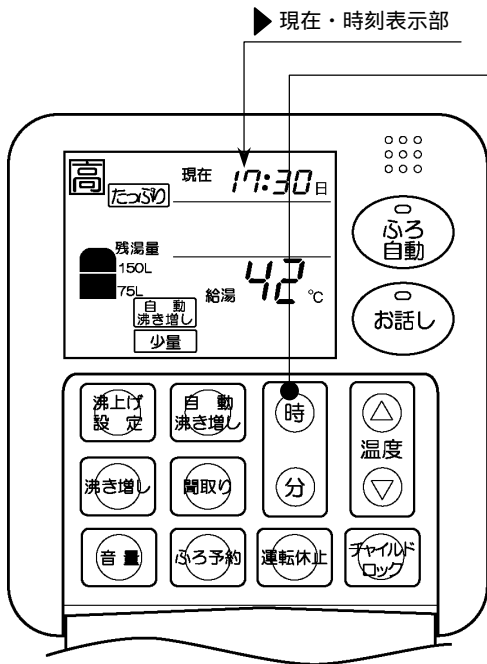
現在時刻の合わせかた



必ず現在時刻を設定してください

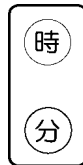
現在時刻を設定しないと...

- お湯を沸かすことはできません。
- 電気料金が割高になります。



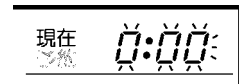
1

設定開始



を同時に5秒間押します。

時刻表示部が点滅し、現在時刻修正モードになります。



2

時刻を合わせる

① 時 を押すごとに1時間ずつ表示部の時間が進みます。

② 分 を押すごとに1分ずつ表示部の分が進みます。

Point

①② それぞれ押しつづけると、早く進みます。

3

設定完了

時刻の設定を完了します。

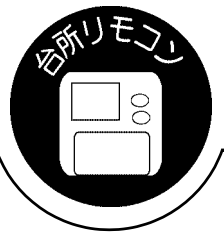
ボタンを押し終わって約5秒後に時計表示が点灯に変わり、「設定されました」と音声でお知らせします。

停電があったとき

現在時刻表示部が約20秒間点滅したあと、通常表示に復帰します。

月に一度は時刻確認を！

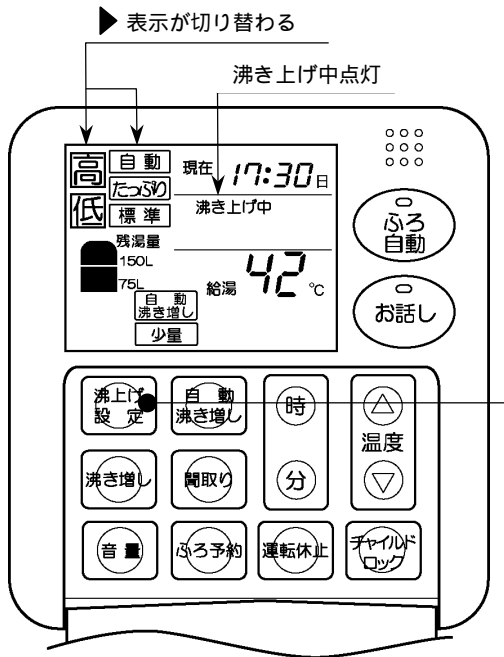
現在時刻は、気温の変化や停電などで変動することがあります。時刻が間違っていると、お湯を沸かすことができなかったり、料金が割高になります。月に一度は時刻の確認をしてください。



沸き上げ運転モードを設定する



ご使用湯量に合わせて、運転モードを設定することができます。



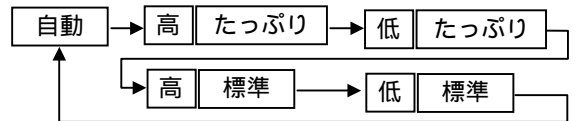
1

設定開始



を押す。

ボタンを押すごとに、



と沸き上げ運転モード設定表示が切り替ります。

2

設定完了

「設定されました」と音声で設定完了をお知らせします。

運転モード

設定表示	使い方	BHP-F37BU (K)	BHP-F46BU
	毎日のお湯の使用量がかわらないときにお選びください。使用量に合わせて最適に沸き上げます。	過去一週間の使用湯量に基づき、翌日の使用量を予測して沸き上げます。(通常は【自動】を推奨します)	
	高温のお湯をたくさん使いたいときにお選びください。	460L 相当のお湯を自動的に約 90 で沸き上げます。昼間時間帯にも沸き上げをします。	560L 相当のお湯を自動的に約 90 で沸き上げます。昼間時間帯にも沸き上げをします。
	お湯の使用量は少ないが、追焚きを多く使用したいときにお選びください。	深夜時間帯のみにタンク内上部を約 90、残りを約 75 で沸き上げます。	
	お湯をたくさん使いたいが、昼間の沸き上げをしたくないときにお選びください。	深夜時間帯のみにタンク内を約 90 で沸き上げます。	
	お湯の使用量が少ないときにお選びください。	深夜時間帯のみにタンク内上部を約 75、残りを約 65 で沸き上げます。湯切れの恐れがあります。【自動沸き増し】の併用をお勧めします。	

お知らせ

- **自動**、**高 たっぷり** はお湯の使用量が多く深夜時間帯の沸き上げで足りない分は、不足分を昼間時間帯に沸き上げます。
- **高 たっぷり**、**低 たっぷり** は設定後一週間経過した時点で【自動】に移行します。
- **自動** は通常より多くのお湯を急に使用すると湯切れの恐れがあります。【自動沸き増し】の併用をお勧めします。



沸き上げ運転モードを設定する

沸き上げ温度のめやす

設定表示	沸き上げ温度	
	タンク上部：約 90L	タンク下部：残り
自動	約 90	約 65 ~ 90
高・たっぷり 高・標準	約 90	
低・たっぷり	約 90	約 75
低・標準	約 75	約 65



ご注意

- 設定温度は沸き上げ完了直後のタンク内温度の目安です。時間の経過とともに少しずつ低下します。
- 厳寒期や残湯量が少ないとき、深夜時間帯の沸き上げで設定温度まで沸き上がらない場合があります。また、深夜時間帯にお湯をたくさん使った場合も設定温度まで沸き上がらないことがあります。

沸上げ開始(通電開始)

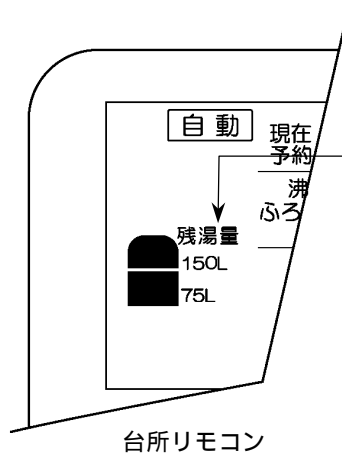
深夜時間帯になるとマイコンが残湯量を計算し、翌朝沸き上げ設定温度になるよう通電開始時間を遅らせます。沸き上げ運転を開始すると、液晶画面の【沸き上げ中】が点灯します。




明日はお客様が...

お湯をたくさん使う予定のときは、前日に  を押して   に切り替えておきます。

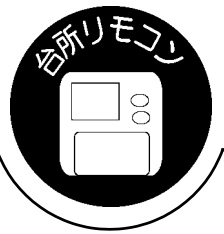
Point

タンク残湯量のみかた



表示	残湯量
	150L 以上
	75L 以上 ~ 150L 未満
	75L 未満

- お湯は残っています
残湯量表示が消灯したあとも、約 75L のお湯が残っていますので、しばらくは給湯用としてお湯が使えます。
- タンクの湯量は...
残湯量表示ではお湯として使用できる約 45 以上の湯量を示します。
残湯量の表示があっても、その日に必要なお湯の使用量を確保するために「沸き増し」を開始することがあります。

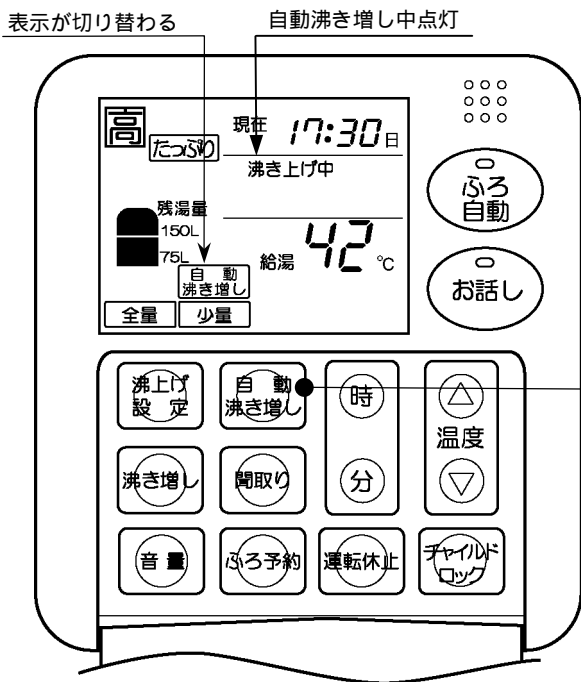


自動沸き増しの設定



おすすめします。【自動沸き増し】設定

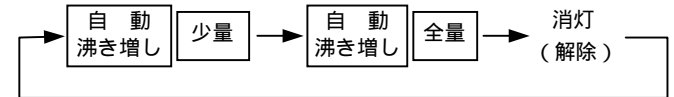
- 設定すると、タンク内のお湯が減ってきたらそのつど自動で沸き増しをして、お湯が足りなくなるのを防ぎます。
- 湯切れが心配な日は **少量** を、お湯を多く使いたい日は **全量** を設定してください。
- 設定していても、お湯の使用量が少なければ沸き増しをしません。



設定開始

自動沸き増し を押す。

ボタンを押すごとに、



と、表示が切り替わります。

2

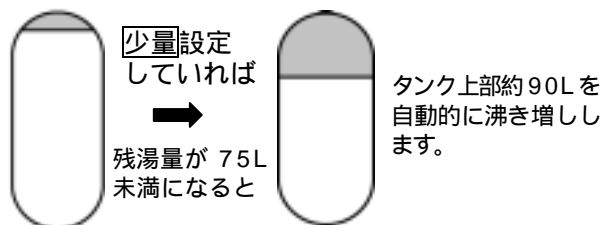
設定完了

ボタンを押すと

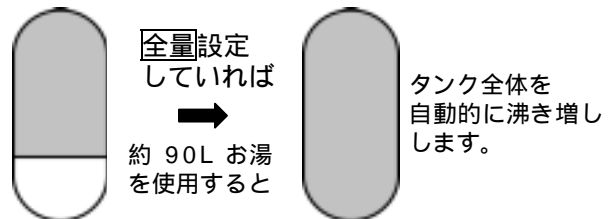
- **少量**、**全量** の場合「設定されました」
- 消灯（解除）の場合「解除されました」

と音声でお知らせします。

Point 湯切れが心配な日は



Point お湯を多く使いたい日は



『沸き増し』は **少量** でも 30 分程度、時間がかかります。
 湯量が充分あるときは、沸き増し動作を待機します。
 沸き増しを開始すると、台所リモコンに「沸き上げ中」を表示します。

全量 の設定は・・・

全量 の設定は、設定日翌朝の昼間時間帯開始時刻に自動的に **少量** に切り替わります。

電気料金が割高になります

昼間時間帯に沸き増しするため電気料金が割高になります。

沸き増しのしかた



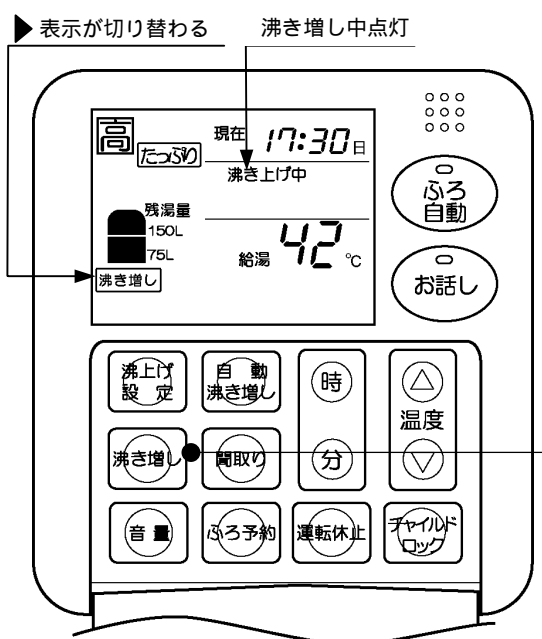
こんなとき

たくさんのお湯が必要になったとき

来客などでたくさんのお湯が必要になったとき、**沸き増し**を設定すると1回だけタンク全体を沸き増しします。

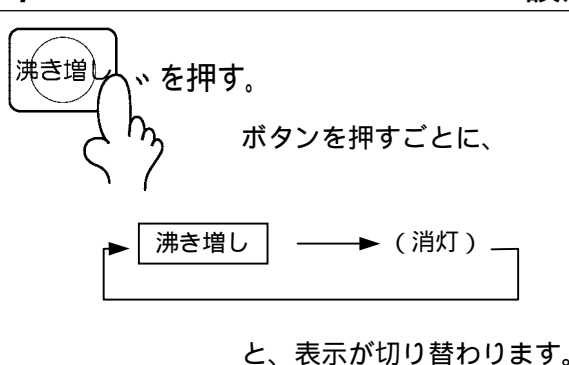
昼間時間帯での沸き増しになります

- 昼間の電気を使用しますので電気料金が割高になります。



1

設定開始



2

設定完了

ボタンを押すと

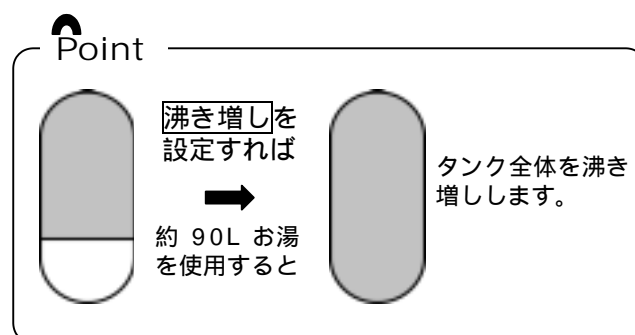
- **沸き増し** の場合「設定されました」
- 消灯 (解除) の場合「解除されました」

と音声でお知らせします。

3

沸き増し終了

沸き増しが終了すると **沸き増し** が消灯します。

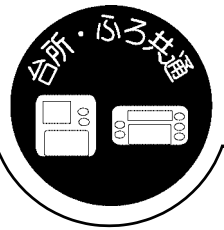


沸き増しを開始すると、台所リモコンに「沸き上げ中」を表示します。

沸き増し設定の手動解除

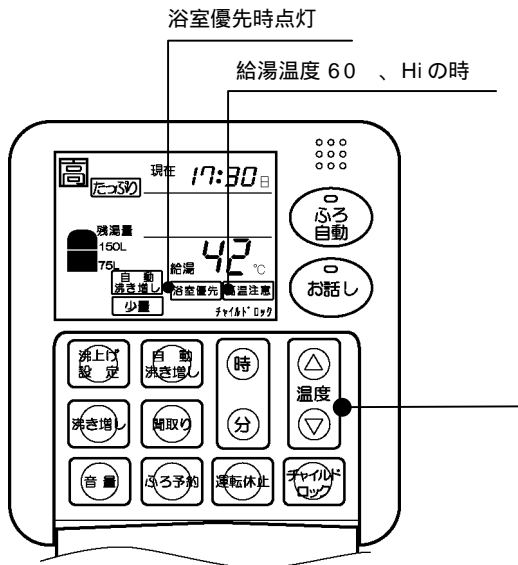
- 沸き増しを途中でやめる場合、**沸き増し** を再度押します。

給湯温度の設定のしかた



使用するお湯の温度を設定します。

- 台所、洗面所、シャワーなどで使用するお湯の温度を設定します。

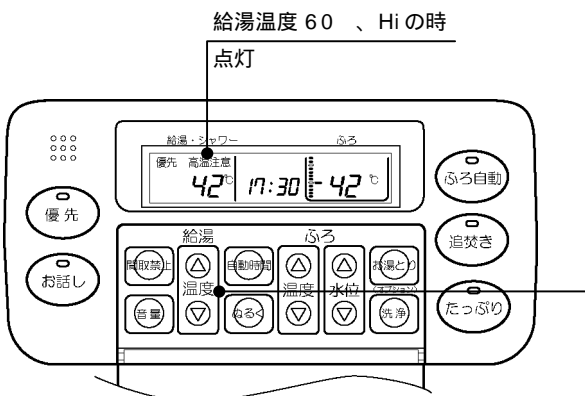


1

『優先』の確認

- 台所リモコンで給湯温度を設定する場合
浴室優先 の表示が消えていることを確認します。
 台所リモコンに **浴室優先** の表示がある場合、台所リモコンで給湯温度を設定することはできません。
- ふろリモコンで給湯温度を設定する場合
 ふろリモコンでは、**優先** 設定の有無にかかわらず、給湯温度の設定ができます。
優先 ボタンを押すと、台所リモコンからの変更ができなくなります。

シャワー使用時は必ず「優先」にしてください。



2

給湯温度設定

給湯

を押して給湯温度を設定します。



押すと表示は下記のように変化します。

Lo 35 ~ 48 60 Hi

- 60、Hi (約 80) 設定のとき、各リモコンには **高温注意** が表示されます。
- Lo は水が出ます。

ご注意

- Hi 設定をする場合は、貯湯タンクユニットの設定が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。
- タンク内の湯温が低い場合、設定温度のお湯は出ません。
- サーモスタット式湯水混合栓の場合は、給湯温度の設定を 60 または Hi に設定すると給湯量が増えます。
- ふろリモコンが **優先** 設定であっても、「チャイルドロック」を設定すると、台所リモコンで給湯温度の設定ができるようになります。
 (**浴室優先** の表示は消えます。)

他の人が入浴している時には、給湯温度を変えたりしないよう充分注意してください。

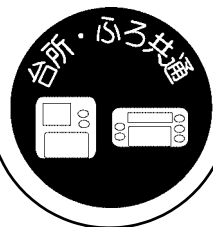
P26

優先のわけ...

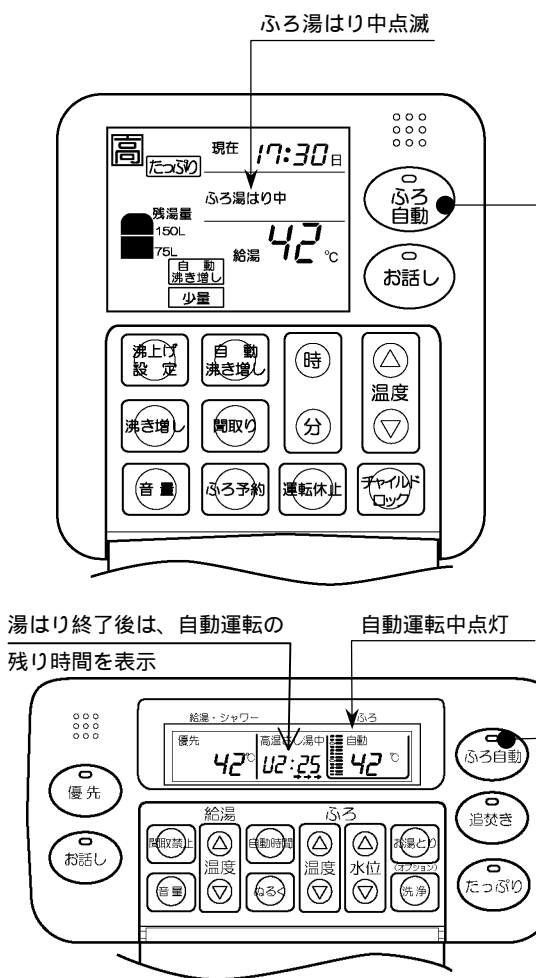
たとえばシャワー使用時に台所リモコンで給湯温度を変更するなど、お湯を使用している最中にほかの場所から給湯温度を変更すると非常に危険です。

このため、ふろリモコンに **優先** ボタンを設け台所リモコンでの給湯温度変更を制限しています。

ふる湯はり(ふる自動運転)のしかた



- **ふる自動** ボタンを押すだけで、あらかじめ設定した湯温、水位で湯はりを行います。湯はり終了後は、設定湯温、水位を保持するよう自動追焚き(保温)、たっぶり(たし湯)を行います。
- ふる湯はりは台所リモコン、ふるリモコンのどちらからでも開始できます。



1

準備

浴そうの栓を閉じてふたをします。
残り湯からも湯はりができます。

2

操作開始



を押し。

ランプが点灯し、「お湯はりをします」と音声でお知らせします。

台所リモコン：【ふる湯はり中】が点滅します。

ふるリモコン：【自動】が点灯します。

3

湯はり完了

設定した湯はり温度、湯はり水位になるとふる湯はりを停止します。

「お湯はりが終了しました」と音声でお知らせします。

4

自動運転

湯はり終了後は、設定された時間(自動時間)追焚き・たっぶり(たし湯)を自動的に行き、設定湯はり温度、湯はり水位を保ちます。

台所リモコン・ふるリモコンの時刻表示部に自動運転の残り時間を表示します。残り時間の変更 **P20**

ご注意

- ふる自動運転中にシャワー、蛇口を使用しますと、ふる湯はり、自動足し湯などのふる自動運転動作は一時休止します。シャワー、蛇口を止めるとふる自動運転を再開します。
- タンク内の湯温が設定ふる湯はり温度より低い場合、湯はりはできません。
- 残り湯の水位が循環アダプターの上端位置付近にある場合は、正常にふる湯はりが作動しないことがあります。

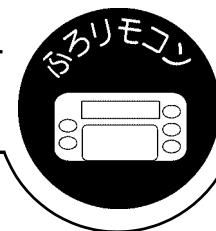
警告

- 湯はり中は浴そうに入らないでください。高温水が出ますのでやけどをすることがあります。
- 自動運転中は追焚きにより高温水が出ることがあります。やけどにご注意ください。

ふる自動運転の停止

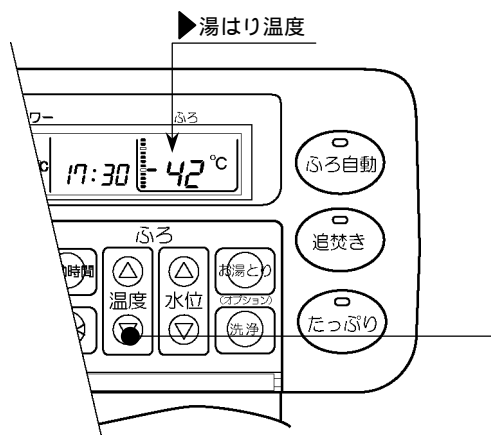
ふる自動運転中に **ふる自動** ボタンを押すとふる自動運転を停止します。

ふる湯はり温度の設定



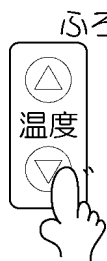
湯はりや保温温度を設定します。

ふる湯はり（ふる自動運転）するときの湯はり温度と自動追焚きによる保温温度を設定します。



1

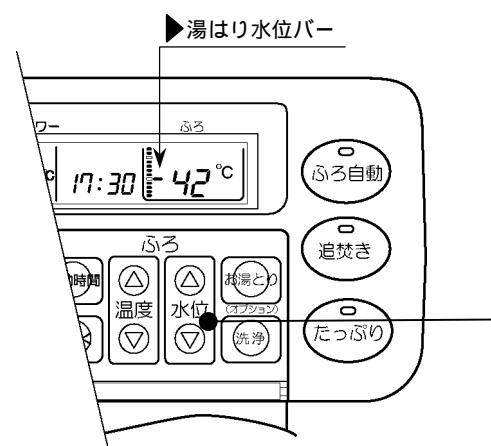
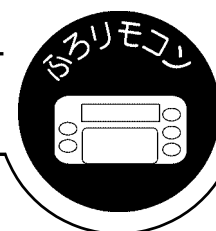
設定開始



を押しして湯はり温度を設定します。

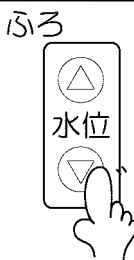
Lo 35 ~ 48 の範囲で設定できます。

ふる湯はり水位の設定



1

設定開始



を押しして湯はり水位を設定します。

表示部の湯はり水位を示すバーが上下します。
水位バーが最下位の時の水位は、ふる循環アダプター上端より約 10cm 上になります。

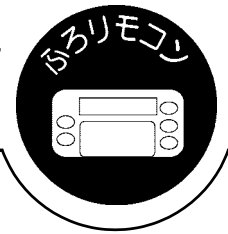
△ を押しすと約 3cm ずつ水位が上がります。

▽ を押しすと約 3cm ずつ水位下がります。

設定値は目安です

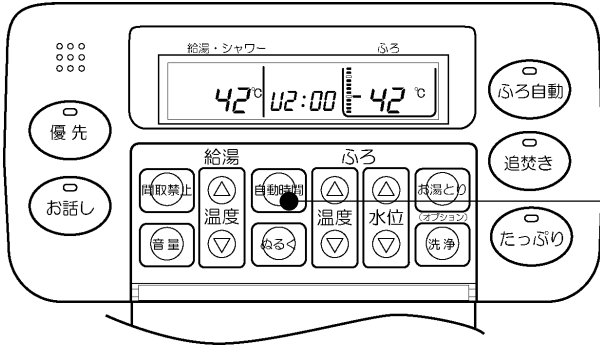
設定した湯はり温度は、配管の保温状態、長さや浴そうの放熱により若干変動します。
また、湯はり水位についても浴そうの形状によって異なる場合があります。

ふろ自動運転時間の設定



ふろ自動運転する時間を設定します。

ふろ湯はり後、設定時間の間、保温（追焚き）・たし湯を行い設定湯温・設定水位を保ちます。



1

設定開始

自動時間を押す。

時刻表示部に現在設定されている時間が表示されます。

U2:00 (現在 2 時間に設定されている場合)

2

自動運転時間を設定する

自動時間を続けて押す。

押すたびに、設定時間が 30 分ずつ繰り上がります。

U0:00 U0:30 ... U6:00

Point

自動運転
残り時間の変更

自動運転中に自動時間を押すと、自動運転の残り時間を変更できます。

例 U0:24 自動時間を押す U0:30
続けて 自動時間を押す
U0:30 U1:00 U1:30 ...

3

設定完了

ボタンを押し終わって、約 10 秒後に現在時刻表示になり設定を完了します。

Point

ジェットバスに対応

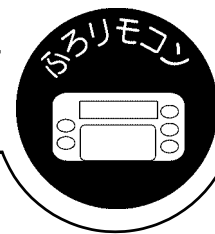
自動運転時間設定中に優先を押すと、押すごとに

U*:* * ←→ A*:* * と表示が入れ替わります。

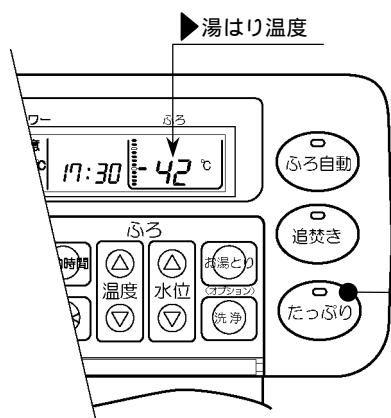
A*:* * 表示で自動時間を設定すると、保温のみを行います。

ジェットバスをご使用など浴そう水面の変動が大きい場合は、A*:* * モードでご使用ください。

入浴中にお湯をたす



お湯の量を増やします



1

設定



を押す。

ボタンが点灯します。
「たし湯を開始します」と音声でお知らせします。

2

終了

設定湯はり温度のお湯が約 20L 増えるよう、水と湯を給湯し自動停止します。

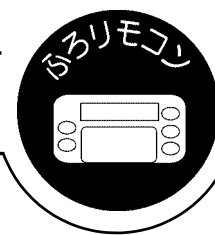
「ピー」と音で終了をお知らせします。

3

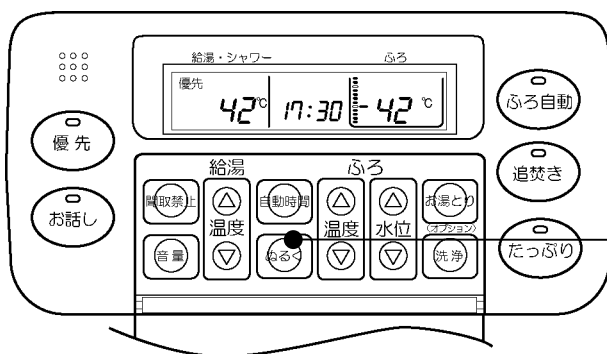
途中でとめたいとき

もう一度  を押します。

入浴中に湯温を下げる



お湯の温度を下げます



1

設定



を押す。

「ぬるくを開始します」と音声でお知らせします。

2

終了

約 15L の水をたして、お風呂の湯温を下げたあと自動停止します。

「ピー」と音で終了をお知らせします。

3

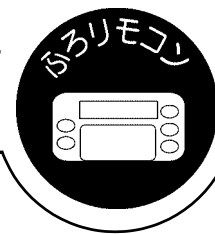
途中でとめたいとき

もう一度  を押します。

『たっぶり』、『ぬるく』開始時には

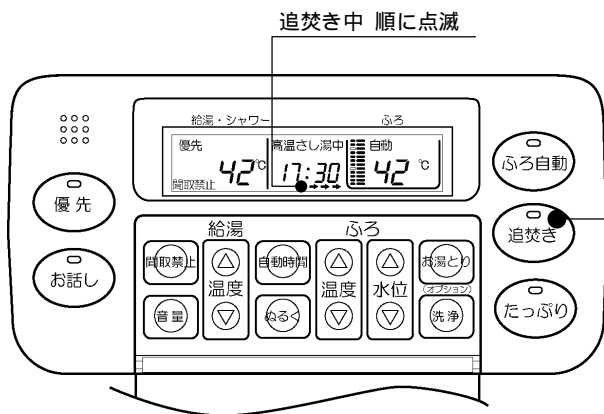
- 循環アダプターより泡がでることがありますが正常な動作です。
- しばらくは配管に残っているお湯が出ます。

入浴中に湯温を上げる



わたしはもっと熱いお風呂が好き

入浴中にお好みに応じて湯温を上げられます。



1

操作開始

追焚きを押し。

ランプが点灯します。

「追焚きを開始します」と音声でお知らせします。

- 湯温がふろ湯はり設定温度より低い場合
設定温度まで追焚きし自動停止します。
- 湯温がふろ湯はり設定温度以上の場合
約 2 湯温が上昇するよう追焚きし自動停止します。

ふろ機能使用中は

湯はりや追焚き中には、
リモコンに → → → を順に点滅表示
して、浴そうの湯が循環していることを
お知らせします。

2

終了

「ピー」と終了を音でお知らせします。

3

途中で止めたい

もう一度 追焚きを押し。

ご注意

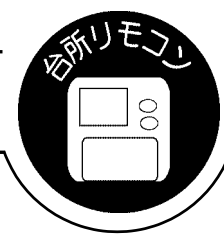
追焚中は循環アダプターより
離れてください。

追焚できるのは水位が循環
アダプターより上の時だけ。



タンクの残湯量は少なくなります

- 追焚きはタンクの熱い湯を使用します。そのため、追焚きをするとタンクの残湯量は少なくなります。
またタンクの湯温が低い場合、追焚きはできません。

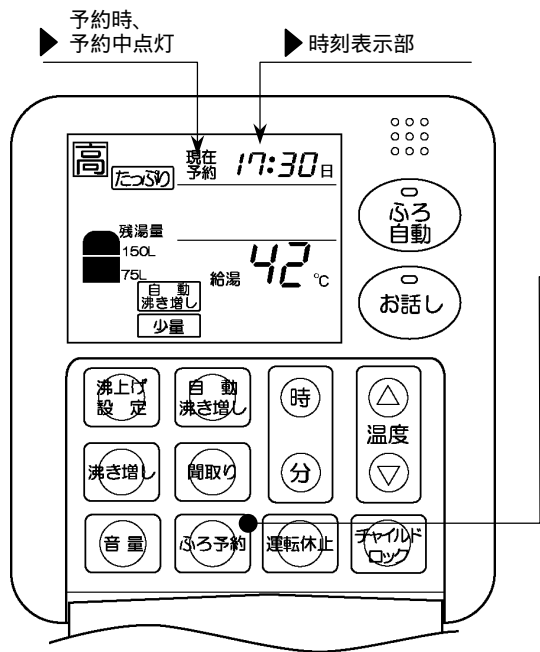


ふる湯はり予約のしかた



こんなとき

ふる湯はり予約を設定すると予約した時間に湯はりが完了し、お風呂に入れます。

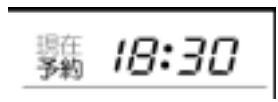


1 お風呂の準備

浴そうの栓を閉じふたをします。
残り湯があっても予約できます

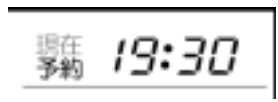
2 設定開始

ふる予約 を押す。
時刻表示左側の「現在」が消灯し「予約」を表示し「:」が点滅から点灯に変わります。
(現在の予約設定時刻を表示します。)



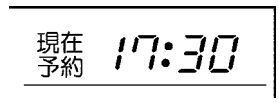
3 予約時刻を設定する

時 **分** を押して、湯はり完了時刻を設定します。



4 設定完了

時 **分** のボタン操作を終えて約 5 秒後に設定を完了し、「:」が点滅して現在時刻を表示します。



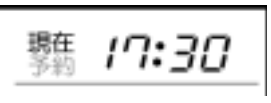
Point

- 予約は予約時刻の 1 時間以上前に予約してください。
- ふる湯はり予約中に **ふる自動** を押すと自動運転を開始します。
- 「ふる湯はり予約」は湯はり完了すると自動的に解除されます。使用のつど「予約」をしてください。

予約設定の解除

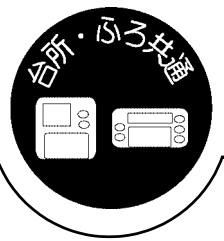


予約時刻設定画面で再度ふる予約を押すと、予約は解除されます。
時刻表示部、左側の「予約」が消灯します。



ご注意

- 現在時刻があつてないと予約した時刻にふる湯はり完了しません。
- 水圧の変動などで、ふる湯はり完了時刻が予約した時間とずれる場合があります。

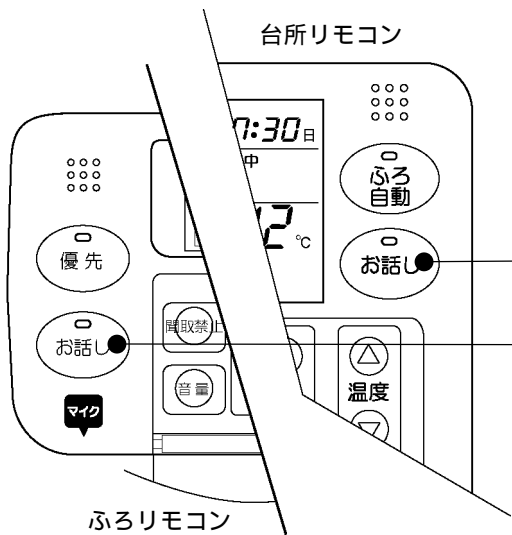


インターホンを使う



ふろリモコンと台所リモコンの間に会話ができます。

- ふろリモコン、台所リモコンのどちらからも呼び出せます。



1

操作開始

「お話し」を押す。(呼び出し側)



ピッピッピッと呼び出し音になり、
「お話し」ランプが点灯します。

2

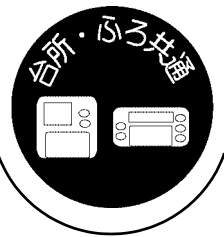
お話し

「お話し」ボタンを押しながら話します。話し終わったら「お話し」ボタンをはなします。応答も「お話し」ボタンを押しながら話します。

3

終了

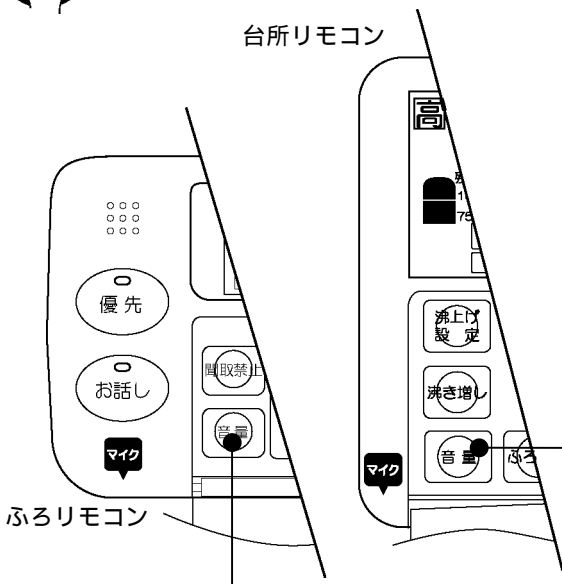
30秒たつと自動的に切れ「お話し」ランプが消灯します。



インターホン音量調節 / 音声ガイド



台所リモコン、ふろリモコンのインターホンの音量を設定します。



1

設定開始

「音量」を押す。



押すたびに、



と切り替わります。
切り替わるたびに「ピピピ」と設定した音量でお知らせします。

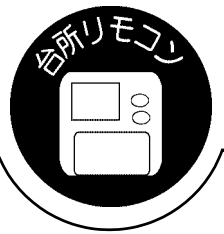
2

設定完了

ボタンを押し終わって、約5秒後に設定を完了します。

音声ガイド ON/OFF 切替

- ボタンを5秒以上押し続けると、音声ガイドの「ON」-「OFF」を切り替えられます。
- ONの場合：「音声ガイドを開始します」
- OFFの場合：「音声ガイドを中止します」と音声でお知らせします。

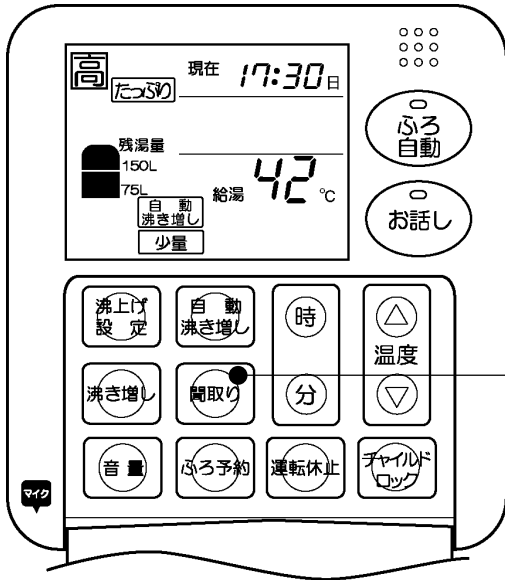


聞取り



台所リモコンで浴室の音を聞くことができます。

- インターホンでの応答がない時などに使用します。



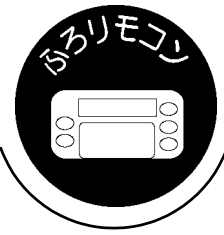
1

設定

聞取り を押す。



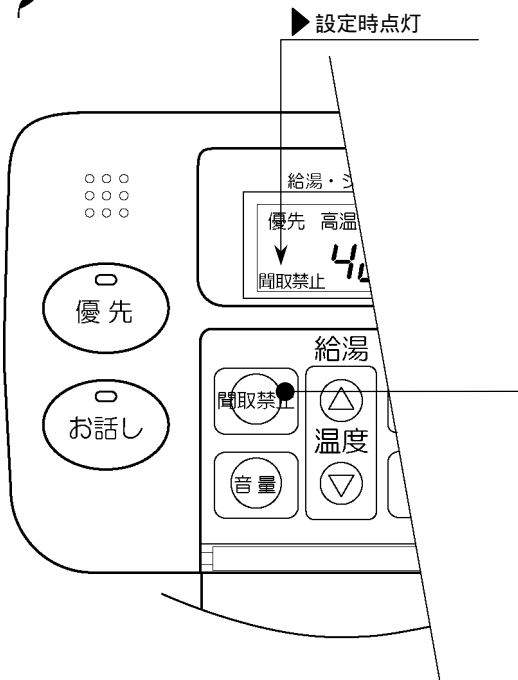
お話し ランプが点滅し、「ピピピ」と音が鳴ります。音が鳴り止んでから 15 秒間浴室の音を聞くことができます。



聞取禁止



浴室での音が台所リモコン側で聞こえないようにします。



1

設定

聞取禁止 を押す。



表示部の 聞取禁止 が点灯し、浴室での音が台所リモコン側で聞こえなくなります。

2

設定解除

聞取禁止 をもう一度押す。



表示部の 聞取禁止 が消灯し、浴室での音を台所リモコンで聞けるようになります。

Point

聞取禁止 は 聞取り を押したときのみ有効です。

チャイルドロックのしかた

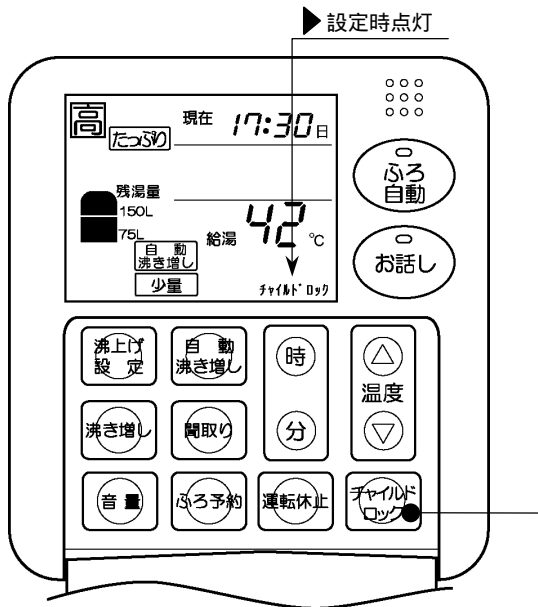


チャイルドロックはふるリモコンの操作設定を制限します。

台所リモコンでチャイルドロックを設定すると、ふるリモコンは



のみが使用できるようになり、誤って設定を変えることを防ぎます。



1

設定

「チャイルドロック」を押す。



表示部右下に「チャイルドロック」と表示します。
「設定されました」と音声でお知らせします。

「チャイルドロック」をもう一度押す。



「解除されました」と音声でお知らせします。
表示部の「チャイルドロック」が消灯します。

ご注意

ふるリモコンが「優先」設定であっても、「チャイルドロック」を設定しますと、ふるリモコンの「優先」設定は解除され台所リモコンで給湯温度の設定ができるようになります。
(台所リモコンの「浴室優先」の表示が消えます。)

他の人が入浴している時には、給湯温度を変えたりしないよう充分注意してください。

P17

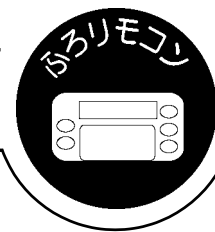
「チャイルドロック」を解除しますと、ふるリモコンの「優先」設定に戻ります。
(台所リモコンの「浴室優先」の表示が点灯します。)

ふるリモコンでは

チャイルドロック作動中にふるリモコンを操作しますと、「チャイルドロックが作動しています」と音声でお知らせし、操作・設定を制限します。

チャイルドロック作動中は「お話し」「開取禁止」「音量」だけが使用できます。

ふる循環配管の洗浄のしかた

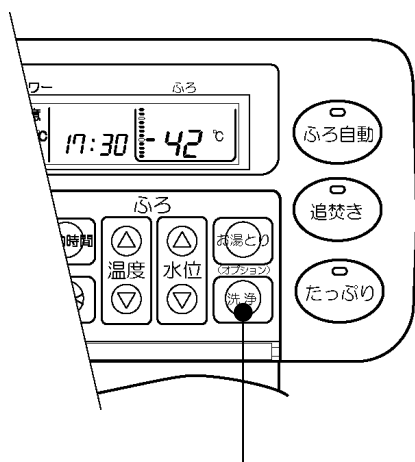


洗浄剤を使用して配管を洗浄

洗浄剤を使用して、ふる循環配管内を自動洗浄します。
ふる循環配管への汚れの付着を軽減するため、年2回程度洗浄してください。

推奨洗浄剤

商品名：ジャバ（1つ穴用）
発売元：ジョンソン株式会社



1

残り湯の確認



残り湯が循環アダプタ上部より
10cm 以上あることを確認しま
す。

2

浴そうに洗浄剤を入れる

使用量など取扱いについては、洗浄剤付属の説明書をお読み
ください。

3



を5秒間押す。

「洗浄を開始します」と音声でお知らせ
します。

自動で約10分間洗浄剤が配管内を循
環し、ふる配管の洗浄を行います。

その後、2分間注水して配管内のすすぎ
を行います。

4

洗浄終了

自動洗浄が終了すると、「ピー」と音で終了をお知らせします。

5

排水

浴そうの排水栓を開いて排水します。

残湯量は少なくなります



を行いますと、タンク内の追焚専用配管も洗浄するので浴そうの湯温は上がり、タンクの残湯量は少
くなります。



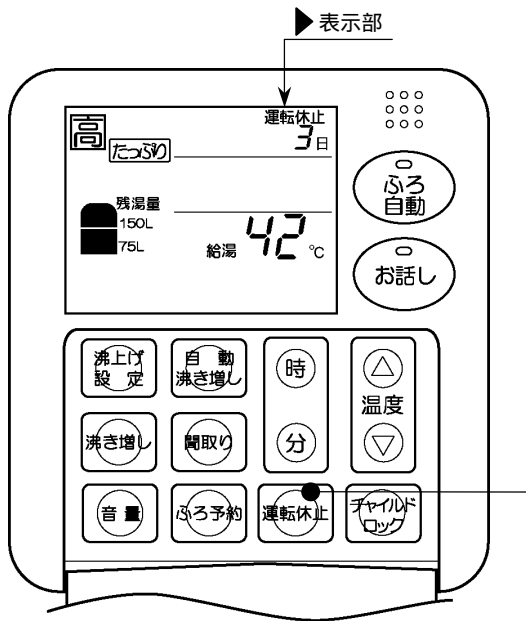
数日間お湯を使わないとき



こんなとき

旅行などで数日間お湯を使用しないとき。

- タンクのお湯の沸き上げを停止することができます。
- 沸き上げ停止日数は 1 日～15 日まで設定できます。



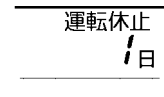
1

設定手順

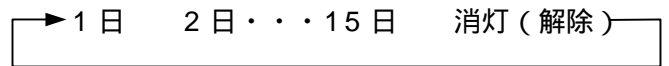


「運転休止」を押す。

時刻表示部に「運転休止 日」と表示します。



「運転休止」を押すたびに 1 日繰り上がります。



2

設定終了

ボタンを押し終わると設定を完了します。

「温水器の沸き上げを休止します」と音声でお知らせします。

Point 運転休止日数の決め方

5月1日出発して5月5日帰宅する4泊5日の旅行の場合。

出発日(5月1日)に運転休止日数3日を設定します。

1日～3日は運転休止し、4日は沸き上げを行いますので、5日の朝からお湯が使えます。

運転休止日数の表示は1日ごと減ります。

ご注意

- 運転休止を設定される場合は必ず【沸き増し】【自動沸き増し】の設定を解除してください。
【沸き増し】【自動沸き増し】を設定していると、運転休止中であっても沸き増し運転を行います。
(それぞれの操作方法は **P15** **P16** を参照してください。)
- 冬期、凍結の恐れがある場合は、運転休止の設定はしないでください。

運転休止の解除は

設定完了後に「運転休止」を押すと「解除されました」と音声でお知らせします。

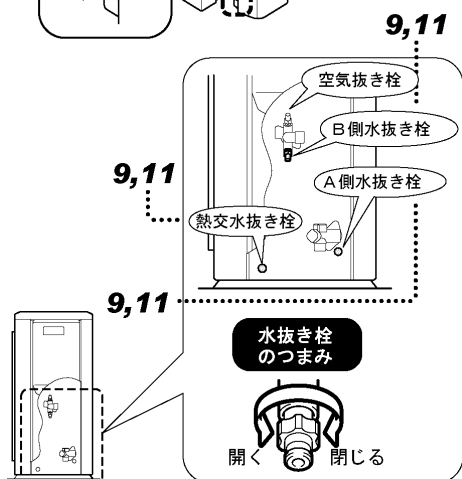
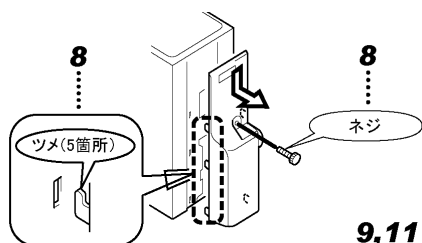
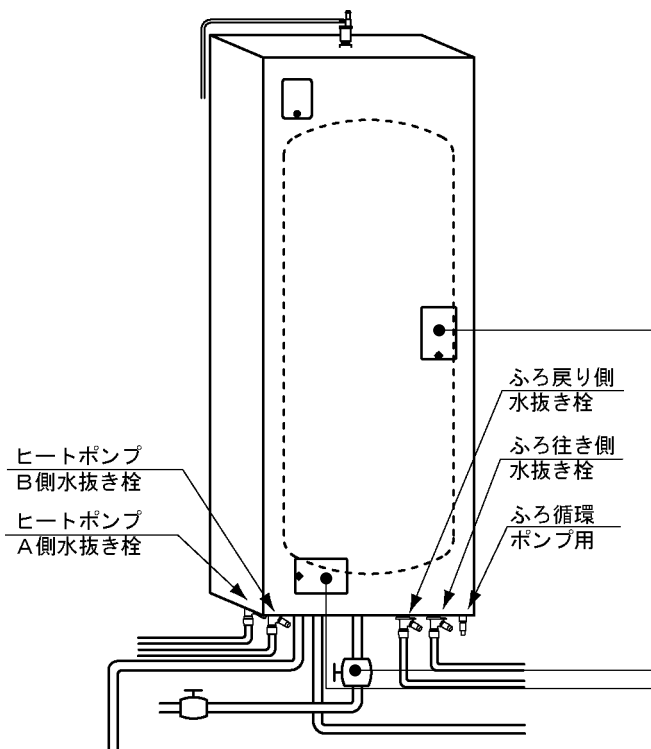


1ヶ月以上使用しないとき



タンクの排水のしかた

1ヶ月以上、使用しないときは、運転を止めタンクの水を抜きます。



1 台所などの湯水混合栓を開く
熱いお湯が出なくなるまでお湯を出した後、湯水混合栓を閉じます。

2 給湯温度を「Lo」に設定する
台所リモコンまたはふろリモコンで設定します。
「Lo」に設定しないと、再給水時にタンクが満水にならない場合があります。

3 漏電遮断器の電源スイッチを切る
漏電遮断器の電源スイッチを「切」にします。

4 専用止水栓を閉じる
貯湯タンクユニットへの給水を止めます。

5 逃し弁のレバーを上げて弁を開く
タンクへの空気を入れ、排水できるようにします。

6 排水栓を開く
タンク内の水を抜きます。
排水溝から水があふれないようバルブを調節します。

7 貯湯タンクユニット・各配管の水抜き栓を開く
タンク排水終了後、各配管の水抜き栓を開きます。
ふろ行き側 ヒートポンプ A 側 ふろ循環ポンプ用
ふろ戻り側 ヒートポンプ B 側

8 ネジを取りはずし、下方へスライドさせ、ツメ(5カ所)をはずし、カバーを取りはずす

9 ヒートポンプユニットの水抜き栓(3カ所)
空気抜き栓(1カ所)を開く

10 すべての排水が終わったら、貯湯タンクユニットの排水栓水抜き栓を閉じる

11 ヒートポンプユニットの水抜き栓(3カ所)
空気抜き栓(1カ所)を閉じる

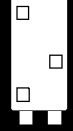
12 逃し弁のレバーを下げる

お願い

- 再び使用するときは、「使用の準備」 **P10** の手順を行ってください。
- 水抜き終了後に逃し弁のレバーが下がっていること、排水栓、水抜き、および空気抜き栓が閉じていることを確認してください。
- 凍結する恐れの高い地域でご使用の場合は、販売店(工事店)に連絡し、特別な水抜き作業を依頼してください。本ページの水抜き作業を行っても、配管の一部に水が残り、凍結を完全に防止することはできません。BHP-F37BUK をご使用のお客様は特にご注意ください。(有料となります。)

凍結防止について

給湯機



各配管に保温工事がしてあっても、本体周囲温度が0 以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損することがあります。

寒冷地だけでなく、暖かい地域でも凍結することがありますので、据付工事店へ相談して適切な凍結防止対策を行ってください。

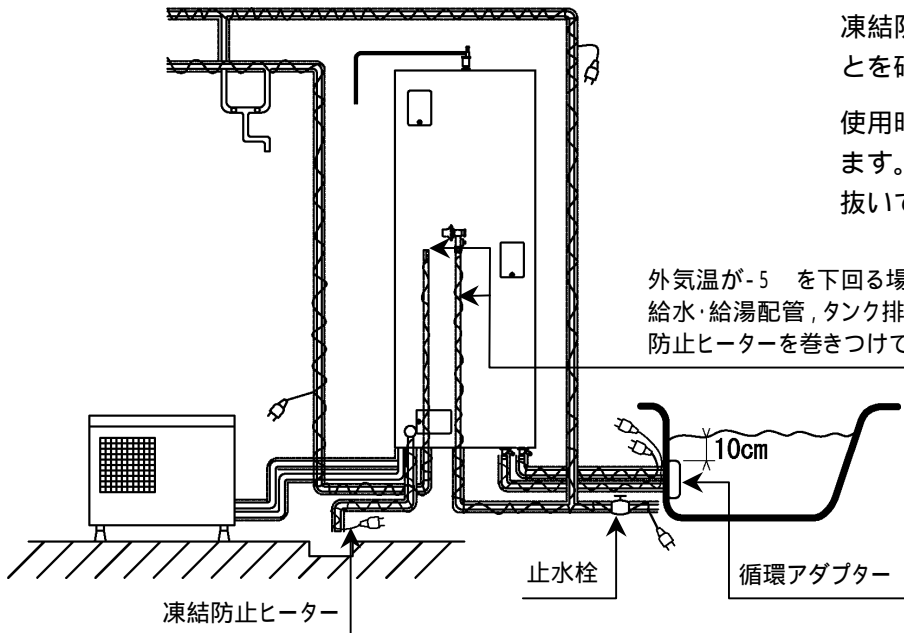
1

凍結防止ヒーターを使う

凍結防止ヒーターが左図のように、巻かれていることを確認します。

使用時はすべてのプラグをコンセントに差し込みます。凍結しない季節はプラグをコンセントから抜いておきます。

外気温が -5 を下回る場合は、機内の給水・給湯配管、タンク排水管にも凍結防止ヒーターを巻きつけてください。



お願い

凍結が予想される時は、残り湯を循環アダプター上端より10cm以上残しておいてください。

浴そうに残り湯がない場合、ふる配管の凍結防止はできません。また、この場合、ふる配管内の水が浴そうに排出され、浴室でゴボゴボ音がします。

2

浴そうの残り湯を循環させる

浴そうのお湯を循環アダプター上部より10cm以上残しておきます。

外気温度が下がると自動的に循環ポンプが動作し、ふる配管に浴そうの残り湯を循環させて凍結を防止します。

ふるリモコンに $\rightarrow \rightarrow \rightarrow$ を順に点滅表示して、浴そうの湯が循環していることをお知らせします。

【循環ポンプを運転しますので運転音がします】

注) ふるリモコンは約1時間ボタン操作がない場合、自動消灯します。ふるリモコン消灯中は、消灯時の状況により矢印が1ヶ点灯または非表示になります。

3

混合水栓を少し開いておく

給湯温度を「Lo」に設定します。

流量を調節します。

各混合水栓を開け、わずかに水が出るように調節します。

各部の点検



安全のため定期的に下記の点検を行ってください。

漏電遮断器の動作確認（1ヶ月に1回）

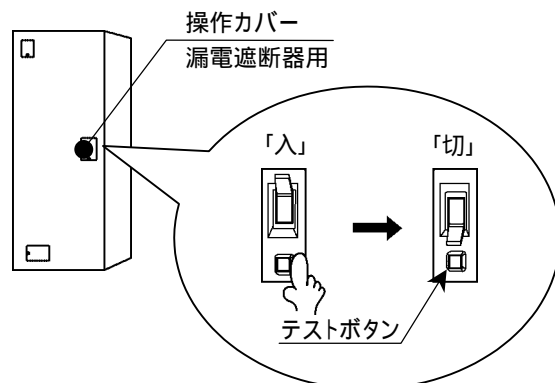
漏電遮断器は、万一漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。

- (1) テストボタンを押します。
電源スイッチが「入」「切」になれば正常です。
- (2) 電源スイッチを「入」に戻します。



警告

漏電遮断器の動作確認をする。
故障のまま使用すると感電することがあります。



逃し弁の点検（1ヶ月に1回）

逃し弁は沸き上げ時、膨張水を排出しタンク内が高圧になるのを防ぎます。

- (1) 逃し弁の手動レバーを上げます。
- (2) 本体排水管から、お湯（水）がでれば正常です。
- (3) 手動レバーを下げます。
排水が止まることを確認してください。

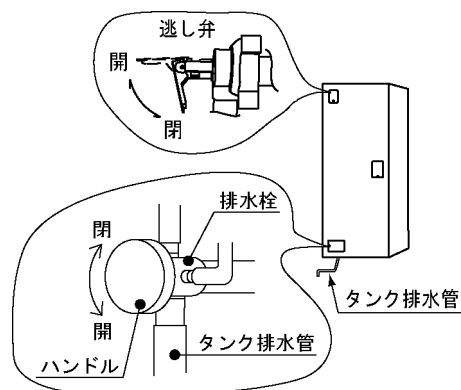
逃し弁は高い位置にありますので、踏み台などを使用して点検してください。点検時は転倒しないように注意してください。



警告

逃がし弁点検時は、配管に手を触れない。
手を触れるとやけどをすることがあります。

逃し弁の点検・タンクの掃除



タンクのそうじ（1ヶ月に1回）

使用中、タンク底部に湯あかなどの沈でん物がたまります。
タンクの湯を排水することにより、タンク内の沈でん物を除去します。

- (1) タンク専用止水栓を閉め、逃し弁のレバーを上げます。
- (2) タンク排水栓を開けて約2分間排水してください。
- (3) 排水栓を閉じ、タンク専用止水栓を開けます。
- (4) 排水管から湯（逃し弁からの湯）がでてきたら、逃し弁のレバーを下げます。



警告

タンクの排水時は、お湯に手をふれない。
やけどをすることがあります。

また、半年に1回、「タンクの排水のしかた」 **P29**、「タンクへの給水のしかた」 **P10** に従って、タンクの排水、給水を行ってください。

日常の点検とお手入れ



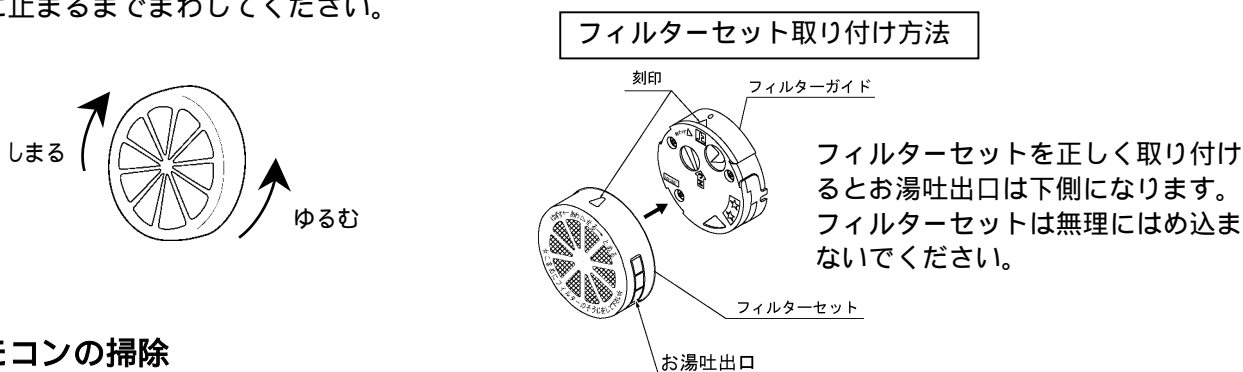
安全のため点検を行ってください。

配管の点検

月に1度は、貯湯タンクユニット周囲が漏れていないか点検してください。
特に集合住宅（マンション）では、水が漏れると階下に被害を与えます。
ドレンホースから水が出ていないことを確認してください。

ふる循環アダプターの掃除

こまめに循環アダプターのフィルターセットをはずし、歯ブラシなどで掃除してください。
取り付け時は、フィルターガイドの『 』刻印にフィルターセットの『 』を合わせてはめ込み
右に止まるまでまわしてください。



リモコンの掃除

リモコンの表面が汚れが落ちにくいときは、水に濡らした布を固く絞って拭き取ってください。
ベンジン・シンナーなどは、リモコンの変形や変色の原因になりますので使用しないでください。

貯湯タンクユニットのお手入れ

汚れは乾いた布でふくか、布に台所用洗剤をうすめてふくませ軽く絞ってふいてください。
洗剤使用後は、布をよく水洗いし固く絞って洗剤をふきとってください。
シンナーなどの溶剤は、塗装面をいためますので使用しないでください。

定期点検契約（有料）のおすすめ

本製品を長期間安心してお使いいただくために、3～4年に1度、専門技術者による定期点検（有料）を行ってください。

定期点検につきましては、販売店または当社サービスエンジニアリングセンタへご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

定期点検の主な項目

項目	内容
据付状態の点検	・設置状態の点検・配管接続部の水漏れ点検 ・配管、その他の保温状態の点検 ・電気絶縁の点検
機能部品の点検	・電気部品（配線、導通、動作の確認）の点検 ・弁類（減圧弁、逃し弁）の点検
清掃	・タンク内の清掃（沈殿物の除去など） ・減圧弁ストレーナの清掃

< 消耗部品（有料）について >

逃し弁、減圧弁、パッキン類、電動混合弁、ゴムホース、循環ポンプ、三方切換弁、センサー類、水流スイッチ、電磁弁、オートベント（別売品）は、消耗部品です。上記部品の交換時は、当社純正品と交換ください。

音声ガイド一覧表



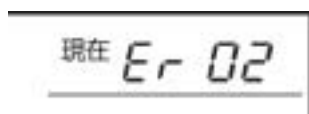
リモコン操作時の音声ガイドは下記です。

操 作	ふろ リモコン	台所 リモコン	状 態	音 声
ふろ自動（自動湯はり）			開始時	お湯はりをします。
			終了時	電子音（ビー）5回、お湯はりが終了しました
			異常終了時	電子音（ビビー）1回、お湯はりを中止します
			栓抜け	電子音（ビビー）1回、お湯はりを中止します おふろの栓を確認してください
			温度不足	電子音（ビビー）1回、お湯はりを中止します タンクにお湯がありません
			中止（途中解除）	電子音（ビビー）1回、お湯はりを中止します
追焚き			開始時	追焚きを開始します
			異常終了時	電子音（ビビー）
			終了時	電子音（ビー）
たっぷり（足し湯）			開始時	足し湯を開始します
			異常終了時	電子音（ビビー）
			終了時	電子音（ビー）
お話し			開始時	呼び出し音（ピピピ）3回
			終了時	
聞取り			開始時	呼び出し音（ピピピ）1回
			終了時	
優先			設定時	設定されました
			優先権の無いリモコンで操作	ビビッ 変更できません ふろリモコンの優先ボタンを押してください
			解除時	解除されました
給湯温度設定			設定変更時	
			60	熱いお湯がです。ご注意ください
			HI	熱いお湯がです。ご注意ください。
ぬるく（差し水）			開始時	ぬるくを開始します
			異常終了時	電子音（ビビー）
			終了時	電子音（ビー）
時刻設定時			時刻設定完了	設定されました
音量変更			標準	ピピピ（ブザー音量中）
			最大	ピピピ（ブザー音量大）
			最少	ピピピ（ブザー音量小）
音声ガイド			設定時	音声ガイドを開始します
			解除時	音声ガイドを中止します
運転休止			設定時	温水器の沸き上げを休止します。
			解除時	解除されました
ふろ予約			設定時	設定されました
			解除時	解除されました
洗浄			設定時	洗浄を開始します
			異常終了時	電子音（ビビー）
			解除時	電子音（ビー）
沸き上げ設定			設定変更時	設定されました
沸き増し			設定時	設定されました
			解除時	解除されました
自動沸き増し			設定時	設定されました
			解除時	解除されました
チャイルドロック			設定時	設定されました
			解除時	解除されました
			作動中にふろリモコン操作	チャイルドロックが作動しています
聞取り禁止			設定時	設定されました
			解除時	解除されました
自動時間			設定時	設定されました
			解除時	解除されました
操作キー（ 以外）			操作時	ビッ
			操作時	ブッ
			操作時	ブッ
操作キー			受付禁止時	ビビッ

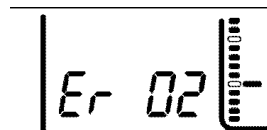
点検表示のみかたと処置



点検が必要な状況になった場合、各リモコンの時刻表示部に記号が表示されます。下記表による処置をしてください。



台所リモコン



ふろリモコン

記号	内容・症状	処理
Er 01 Er 02 Er 03	温度センサーが故障しています。	販売店にご連絡ください。
Er 05	ふろ配管系の温度センサーが異常です。	販売店にご連絡ください。
Er 06	給湯配管系の温度センサーが異常です。	販売店にご連絡ください。
Er 11	台所リモコンの通信不良です。	販売店にご連絡ください。
Er 12	ふろリモコンの通信不良です。	販売店にご連絡ください。
Er 14	給湯用混合弁部の温度が設定温度より高い。	給湯温度の設定を変えてください。
Er 15 Er 16	貯湯タンクユニットへ水の供給がされていない。 ふろ配管系に湯（水）が流れていない。	給水配管専用止水栓を全開にしてください。
Er 17	給湯用混合弁の異常です。	販売店にご連絡ください。
Er 18	電磁弁の故障。	販売店にご連絡ください。
Er 19	電磁弁の故障。	10秒間隔で【ふろ自動】を2～3度押してください。弁にゴミがかんでいる場合復帰することがあります。
Er 21	ふろ配管系の温度センサーが異常です。	販売店にご連絡ください。
Er 23	ふろ循環用配管に湯が流れていない。	10秒間隔で【ふろ自動】を2～3度押してください。
	浴そうの排水栓が開いた状態で湯はりをしています。	浴そうの排水栓を閉じ、【ふろ自動】を押してください。
	フィルターが目づまりしています。	循環アダプターのフィルターを掃除してください。 P32
	給水圧力が低い。	給水圧力を確認し、お近くの水道局に問合せで0.2MPa以上にしてください。
Er 24	ふろ湯はり水位センサーの異常です。	販売店にご連絡ください。
Er 25	ふろ配管系の弁が異常です。	販売店にご連絡ください。
Er 31	ヒートポンプユニットとの通信異常です。	販売店にご連絡ください。
Er 32	ヒートポンプ配管系の弁が異常です。	販売店にご連絡ください。
Er 33	給湯配管系の弁の異常です。	販売店にご連絡ください。
HE - - HE 03 HE 05 HE 16 H - 17 H - 20 H - 21 HP 46	ヒートポンプユニット系の異常です。	販売店にご連絡ください。

故障かなと思ったら



こんなときは故障ではありません

ヒートポンプユニットが運転 / 停止を繰り返す
気温が低いときは、熱交換器の除霜のためファンの運転 / 停止を繰り返します。

沸き上げ運転中、ヒートポンプユニットの蒸発器が霜で白くなる
冬期運転中は蒸発器に霜がつくことがあります。

タンク排水管からお湯が出ている
沸き上げ運転時は、貯湯タンクユニット内の水の温度が上昇し膨張します。この膨張分が逃し弁から排水されます。正常な動作ですので排水栓のハンドルを閉めすぎないでください。

お湯が白く濁って見える
水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。

夜間時間帯になっても、すぐに沸き上げを行わない
給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐに沸き上げを行いません。夜間時間帯が終了する時刻に合わせて沸き上げを完了させます。(ピークシフト機能)

夜間時間帯にヒートポンプユニットが動いていない
運転開始時刻は、今までの使用湯量を考慮して自動制御しています。

気温が低いとき、ふる循環アダプターからポンプの運転音がする
凍結防止のため、浴槽の残り湯を循環します。

沸き上げ運転中、ヒートポンプユニットのドレン口から水がでる
ヒートポンプが大気から熱を吸収するときに、結露した水がでてきます。

お湯から油がでる、お湯が臭い
初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

故障かなと思ったら



こんなときは調べてみましょう

症 状	原 因	処 置
リモコンの表示部が点灯しない (電源が入らない)	自動消灯している(ふるリモコンのみ)	ふるリモコンのボタンを押すと点灯します。
	200V 電源ブレーカーが「切」になっている	「切」になっている場合は、「入」にしてください。
	漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている	「切」になっている場合は、「入」にしてください。再度「切」になる場合は、そのまま据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	停電している	停電が終わるまでまってください。
お湯が出ない お湯の出が悪い	専用止水栓(給水配管)が閉じている	閉じていれば開いてください。
	断水している/給水圧が低い	水道局へ問い合わせてください。
	配管が凍結している	据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	停電している	停電が終わるまでまってください。
お湯がぬるい お湯が足りない お湯が出ない お湯の出が悪い	リモコンの時計表示が点滅している	時刻を設定してください。
	台所リモコンに「運転休止」が表示している	運転休止スイッチを押し、沸き上げ停止を取り消してください。
	台所リモコンの「残湯量」表示が消えている	〔沸き増し〕をしてください。
	沸き上げ湯温設定が低い	「標準」モードで沸き上げ湯温設定が「低」の場合は「高」にしてください。
	沸き上げ運転時以外でも、排水口からお湯(水)がでている	逃し弁の点検を行なってください。逃し弁が正常でもお湯が出ている場合は、減圧弁または缶体保護弁の故障が考えられますので据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	深夜時間帯にお湯をたくさん使用した	〔沸き増し〕をしてください。
	いつもに比べてお湯をたくさん使用した	〔沸き増し〕をしてください。
浴そうのお湯があつい	お湯はり湯温の設定が高い	湯はり湯温の設定を低くしてください。またはさし水をしてください。
	追焚き中	追焚きを中止してください。
浴そうのお湯がぬるい	湯はり湯温の設定が低い	湯はり湯温の設定を高くしてください。または追焚きをしてください。
浴そうのお湯が少ない	湯はり湯量の設定が少ない	湯はり湯量の設定を多くしてください。またはたし湯をしてください。
浴そうのお湯が多い	湯はり湯量の設定が多い	湯はり湯量の設定を少なくしてください。
給湯温度を変更できない	リモコンに優先権がない	ふるリモコンのふる優先スイッチを押してから、給湯温度を変更してください。
〔沸き増し〕の表示が朝7:00以降も点灯している	〔沸き上げ〕を待機している	お湯が減り次第、残っている必要湯量を沸き上げた後、消灯します。
タンク排水管から水が出ている	逃し弁、減圧弁または缶体保護弁の故障です	逃し弁の点検を行なってください。逃し弁が正常でもお湯が出ている場合は、減圧弁や缶体保護弁の故障、または、逆流防止機能のない湯水混合栓からの回り込みが考えられますので据付工事店(販売店)へご連絡ください。

仕様

システム

	仕 様		
型 式 名	BHP-F37BU	BHP-F37BUK	BHP-F46BU
適用電力制度	季節別時間帯別電灯型、時間帯別電灯型(通電制御対応)		
種 類	屋外型		
電 源	単相 200V (50/60Hz)		
最 大 電 流	16A	21A	
沸き上げ温度	約 65 ~ 90		

貯湯タンクユニット

	仕 様		
型 式 名	BHP-TD371	BHP-TD371K	BHP-TD461
タンク容量	370L		460L
最大使用圧力	0.19MPa		
外形寸法	1,846mm(高) 625mm(幅) 730mm(奥行)		2,176mm(高) 625mm(幅) 730mm(奥行)
質量(製品重量/満水時重量)	80kg / 約 450kg		88kg / 約 548kg
消費電力	制御用	10W	
	風呂保温消費電力	110W	
	凍結防止ヒーター	64W	

ヒートポンプユニット

	仕 様		
型 式 名	BHP-HD453	BHP-HD453K	BHP-HD601
外形寸法	640mm(高) × 820mm(幅) × 300mm(奥行)		
質 量	59kg	60kg	62kg
定格加熱能力 / 消費電力 ^{2 3}	4.5kW / 1.11kW		6.0kW / 1.40kW
冬期高加熱能力 / 消費電力 ^{1 2 6}	4.5kW / 1.53kW		6.0kW / 1.99kW
夏期加熱能力 / 消費電力 ^{2 4}	4.5kW / 1.01kW		4.5kW / 0.97kW
冬期加熱能力 / 消費電力 ^{2 5}	4.5kW / 1.24kW		6.0kW / 1.64kW
運転音 ⁷	38dB(A)		40dB(A)
冷媒名(封入量)	CO ₂ (0.77kg)		CO ₂ (1.15kg)

- 1 低外気温時は除霜の為、加熱能力が低下することがあります。
- 2 沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
- 3 作動条件 : 外気温(乾球温度/湿球温度) 16 /12、水温 17、沸き上げ温度 65
- 4 作動条件 : 外気温(乾球温度/湿球温度) 25 /21、水温 24、沸き上げ温度 65
- 5 作動条件 : 外気温(乾球温度/湿球温度) 7 /4、水温 9、沸き上げ温度 65
- 6 作動条件 : 外気温(乾球温度/湿球温度) 7 /6、水温 9、沸き上げ温度 90
- 7 定格条件下での測定(JISのルームエアコンディショナに準じ測定)

愛情点検

長年ご使用の風呂全自動給湯型電気給湯機の点検を！



こんな症状は
ありませんか？

- 本体設置場所がいつもぬれている
- 時々漏電遮断器が『切』になる
- お湯が早くなる
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源ブレーカを切り、給水配管専用止水栓を閉じてから、販売店に点検をご相談ください。

豆知識

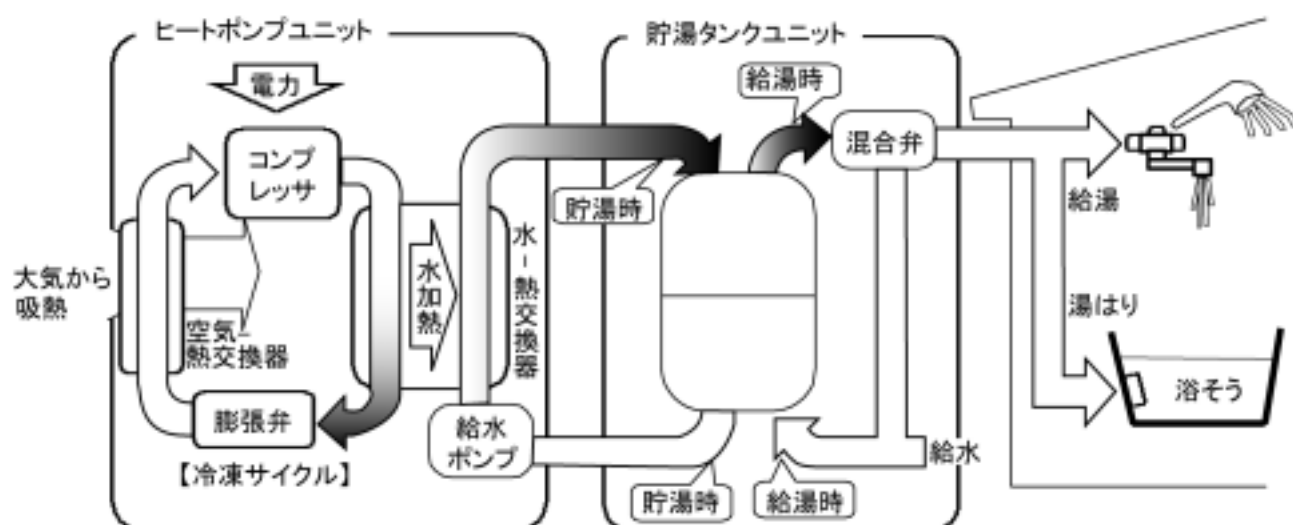
自然冷媒CO2 ヒートポンプ給湯機とは

ヒートポンプユニットで沸上げた温水を貯湯タンクユニットに貯え、必要に応じて台所や浴室内のシャワーへの給湯および浴そうへの湯はりなどに利用できるようにしたシステムです。

ヒートポンプユニットでは、自然冷媒CO₂を封入した冷凍サイクルのコンプレッサを電気で稼動して冷媒を高温・高圧に圧縮し、水-熱交換器で貯湯タンクユニット内から給水した水を加熱(沸上げ)して貯湯タンクの上部へ戻します。お湯は、ヒートポンプにより90℃に沸き上げることができます。

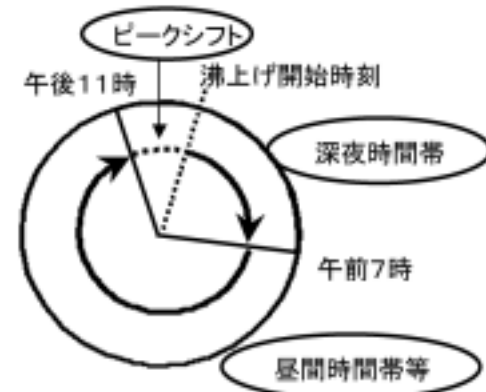
水-熱交換器で水を加熱した冷媒は、膨張弁で低温・低圧に膨張したあと空気-熱交換器で大気から熱を吸収して気化し再びコンプレッサへ送られます。

蛇口・シャワーからお湯を出湯するときや湯ほりをするときは、貯湯タンクユニットに蓄えられたお湯と水を混合弁で混ぜ合わせ設定された温度になるよう調整して出湯します。



ヒートポンプ給湯機は、時間帯別電灯型または季節別時間帯別電灯型の給湯機で深夜時間帯にお湯を沸上げ、必要に応じて昼間でも沸き上げることができます。また、この給湯機は、必要沸上げ時間に応じて沸上げ開始時刻を制御する通電制御に対応しています。

時間帯別電灯通電制御型(例)



保証とアフターサービス

保証書（添付）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日、据付工事店名（販売店名）」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。（取扱説明書、据付工事説明書、明細書なども保証書と一緒に保管してください。）
- 保証期間は、最初の据付日からヒートポンプユニットの熱交換器とコンプレッサーは3年、タンクは5年、その他の部分は2年です。

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の保有期間は製造打切後10年です。

補修用性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。

不明点や修理に関するご相談は

お買い上げ販売店または右記のサービスエンジニアリングセンタにご連絡ください。

修理を依頼されるときは

- 販売店またはサービスエンジニアリングセンタへ下記を連絡ください。
 1. 型式名（保証書に記載）
 2. 故障の状況
 3. お名前、ご住所（付近の目印なども）、電話番号
 4. 販売店名
- 修理料金
保証期間中：保証書の規定に従って修理させていただきます。
保証期間がすぎている場合：修理によって使用できる場合は、お客様のご希望により有料修理いたします。

ご購入年月日	年	月	日
販売店			
	電話番号		

修理コールセンタ

東日本修理コールセンタ (0120)649-020

〒135-8366

東京都江東区東陽 5-29-17(住友不動産 東陽ビル)

西日本修理コールセンタ (0120)649-020

〒532-0022

大阪市淀川区野中南 2-11-27

サービスエンジニアリングセンタ

北海道 (011)717-5146

〒060-0809

札幌市北区北9条西3(小田ビル8階)

東北 (022)225-5972

〒980-0065

宮城県仙台市青葉区土樋 1-1-11

東京 (0120)649-020

〒135-8366

東京都江東区東陽 5-29-17(住友不動産東陽ビル)

北陸 (076)429-6861

〒939-8214

富山県富山市黒崎 627-3

中部 (0568)72-0131

〒485-0072

愛知県小牧市元町 4-66

関西 (0120)649-020

〒532-0022

大阪市淀川区野中南 2-11-27

中四国 (082)283-9374

〒735-0029

広島県安芸郡府中町茂陰 1-9-20

九州 (092)561-4854

〒815-0031

福岡市南区清水 4-9-17

技術相談センタ

技術相談センタ (0120)578-011

〒424-0926

静岡市清水村松 390 番地

所在地・電話番号などは、予告無く変更することがありますのでご了承ください。

株式会社 日立空調システム

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町一丁目 23 番地 2(大木須田町ビル)